



# SUMINOE

住江織物グループ CSRレポート

# 2017



# 住江織物グループのCSR<sup>※1</sup>

## 会社の目的

よい製品を生産し、販売し、  
社業の隆盛をはかり  
社会の向上に貢献する。

## 社訓

業界の先駆者としての  
誇りをもち、和協、誠実、  
不屈の精神をつらぬく。

## 企業行動規範

- 1 法令その他の社会的規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。
- 2 よい製品を生産し、販売し、社会の向上に貢献します。
- 3 従業員の人格と健康・安全に配慮し、従業員を公正に処遇します。
- 4 ステークホルダー(利害関係人)との関係を尊重します。
- 5 良き「企業市民」として積極的に地域社会に貢献します。
- 6 地球環境への影響を重視し、環境保全に取り組みます。

## CSR活動方針

住江織物グループでは、「事業を通じたCSR」と「経営の土台となるCSR」を両輪として、更なる企業価値の向上、広く社会からの信頼を得ることを目指し、活動の方針を次の通り掲げます。

### 事業を通じたCSR

- KKR+A(健康・環境・リサイクル+アメニティ)を中心とした、地球環境・社会に貢献し、人々の暮らしや気持ちを豊かにする商品を提供する。
- グローバル戦略を推進し、当社の製品が多くの人々にご使用いただくこと、KKR+Aを世界各地に広げていくことを目指す。

### 経営の土台となるCSR

- 公正で透明性の高いガバナンス体制を確立する。
- コンプライアンス<sup>※2</sup>(法令遵守)を徹底し、高い倫理観をもって企業活動を行う。
- 従業員の働きやすさ・多様性に配慮するとともに、価値ある仕事を通じて成長することを支援する。

私たちはCSR活動方針に基づき、以下の通り価値を提供していくことで、ステークホルダー(利害関係人)の皆様との良好な関係を構築するとともに、地球環境に寄与し次世代への責任を果たしてまいります。

主なステークホルダー	お客様	お客様の声に真摯に向き合い誠実な対応を心掛けます。お客様とともに快適な空間を作り上げることを私たちの喜びとし、信頼を得ることを目指します。また、品質向上の取り組みを推進してまいります。
	お取引先様	お取引先様との関係を大切に、共にお客様への対応力の向上を目指してまいります。価格・品質・納期等合理的な基準によって選定を行い、公正で対等な取引に努めます。
	株主・投資家の皆様	適正な利益の確保により、株主・投資家の皆様へ還元することを目指してまいります。IR活動により、積極的な情報開示を進めてまいります。
	地域社会の皆様	各国、また地域社会との交流を深め、文化・歴史を理解するとともに、社会貢献活動を行ってまいります。
	従業員	従業員一人ひとりの人格や個性を尊重し、働きやすい職場環境を整備してまいります。また、能力を最大限に発揮し、課題を解決していこうという従業員の想いに応えてまいります。
地球環境	地球環境の維持と改善の一助となる魅力的な環境商品・技術を生み出すことに力を注ぎます。また、事業活動を通じ環境負荷低減活動(省エネルギー、省資源、廃棄物削減等)に努めてまいります。	

## contents

トップメッセージ	03
グループ概要(事業の拡がり)	05
グループ概要(国内事業所)	07
グループ概要(海外子会社)	09
特集① STA不適切会計問題再発防止の取り組み	11
3つのプロジェクトの取り組み	15
コーポレートガバナンス・CSR推進体制	17
特集② 社会に貢献する住江織物グループの製品にはこんな一面が	19
2016年度のCSR活動実績	23
社会性 お客様とともに(納入実績)	25
従業員とともに(多様性の尊重・人材育成・労働安全衛生)	29
人材活性化と女性活躍推進	31
お取引先様とともにリスクマネジメント	33
環境マネジメント KKR+Aのテーマのもとに	35
第4次中期行動目標「エコチャレンジ2018」	37
エコチャレンジ2018(2016年度実績)	38
社会貢献活動	41
会社概要・コラム・編集後記	42

### ■ 対象期間

2016年度(2016年6月～2017年5月)  
(一部対象期間外の活動も含みます)

### ■ 報告対象範囲

住江織物(株)並びに国内外の連結対象子会社  
但し、項目により対象範囲が異なります。

### ■ 参考ガイドライン

ISO26000(社会的責任に関する手引き)

### ■ 発行年月

2017年12月

※1 CSR: Corporate Social Responsibilityの略称で、「企業の社会的責任」と訳される。

※2 コンプライアンス: 企業が法律や企業倫理を遵守した判断や行動をし、社会からの期待や信頼に応えること。



〈はじめに〉

住江織物グループが創業以来130年以上にわたり企業活動を続けられてきたのは、お客様をはじめ、私たちの活動を支えてくださっている多くのステークホルダーの皆様からの信頼によるものと考えております。この信頼関係を維持し、さらに高めていくためには、経営トップをはじめとするグループ全社員が、法令遵守はもとより、社会規範と企業倫理を自覚し、その価値観を共有することが肝要です。その徹底を図るため、当社は中期3ヵ年経営計画「Advance Ahead 2018」を刷新し、2017年

6月から、新たに第5次中期3ヵ年経営計画「2020」をスタートいたしました。

当計画では、「企業ガバナンスの再構築」と「事業の成長」という2つのテーマのもと、事業の拡大とともに、法令遵守や管理体制の見直し、ならびに基幹システムの再構築に取り組んでまいります。

〈企業ガバナンスの再構築について〉

企業の存続には、企業倫理に基づいた健全な事業活動と風通しの良い組織運営が不可欠です。2017年5月期に外部の専門家を招き、コ

ンプライアンスの徹底に向けた中長期プランを策定いたしました。第5次中期3ヵ年経営計画「2020」では、そのロードマップに沿って「業績管理体制の見直し」と「内部統制の再構築」の2つをテーマに掲げ、諸施策を推進いたします。

〈事業の成長について〉

国内では、短期的には東京オリンピック前のホテルや鉄道車両などの改装需要が見込めますが、中長期的には人口減や少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少から、経済規模の縮小が予想されます。海外では、アジア圏を中心とした新興国の経済成長が望めるものの、近年ではグローバル化への反動から保護主義的な政治潮流が経済に影を落とすなど、先行きは混沌としたものになってきております。

国内、海外ともに自ら変革していかなければ、業容の拡大が見込めなくなっている状況下で、足場を固めつつ、「取扱い商材の拡大」、「グローバル化の強化」、「高付加価値商材の開発・販売」という3つのテーマのもと、事業の成長に向け取り組んでまいります。

〈グローバル展開について〉

1994年にタイへ進出して以来、20年以上にわたりグローバル展開を進めてまいりました。現在では、海外売上高が連結売上高の約3割を占めております。当社が永続的に成長していくためには、成熟時代へと移行した国内市場だけでなく、拡大するグローバル市場も取り込んでいく必要があり、当社の歴史のなかでも大きな転換期を迎えております。また同時に、より現地に根差した事業展開を目指すため、多様な文化、習慣、宗教、人種を受け入れ、グローバル人材の育成、現地社員との会社理念の共有、コンプライアンス意識の

浸透、各拠点の地域社会への貢献を図ってまいります。

〈環境への取り組みについて〉

当社の開発テーマは「K(健康)K(環境)R(リサイクル)+A(アメニティ:快適さ)」であり、地球環境への負荷を考慮した商品開発を行っております。そのなかから生まれたのが、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」です。当社が独自開発したECOS®のバック材は、同一製品間で再生を行う、リサイクルのなかでもより高い技術を要する水平循環型リサイクルによるものです。発売から6年経過した現在でも、世界最高水準の再生材比率(最大84%)を誇っており、国内外で高い評価をいただいております。

持続可能な社会を築いていくために、当社は「利益の追求」と「環境・社会への貢献」のより良い調和を目指してまいります。

〈手織り技術の継承について〉

130年を超えて伝承されてきた手織り技術を後世に伝えることは、当社の社会に対する貢献であり、責務と考えております。当社は創業以来、国会議事堂や迎賓館という、日本の伝統工芸美術の粋が集まる各種建築物に、緞通、緞帳、椅子張地、壁装材などの美術織物を納めてまいりました。生産性を重視する現代では手織りの伝統技術を守ることは極めて難しいことですが、当社は今後も若手の技術者・技能者を育成し、長きにわたり培ってきた芸術性と伝統技法を受け継いでまいります。

2017年12月

住江織物株式会社  
代表取締役会長兼社長

吉川一三

# 快適な暮らし、豊かな社会に生きる 住江織物グループの製品・技術

**インテリア**

ラグマット  
カーテン  
タイルカーペット  
襖  
壁紙

**自動車内装材**

シート地  
フロアカーペット  
カーマット

**美術工芸織物**

絨帳  
絨通  
美術工芸品

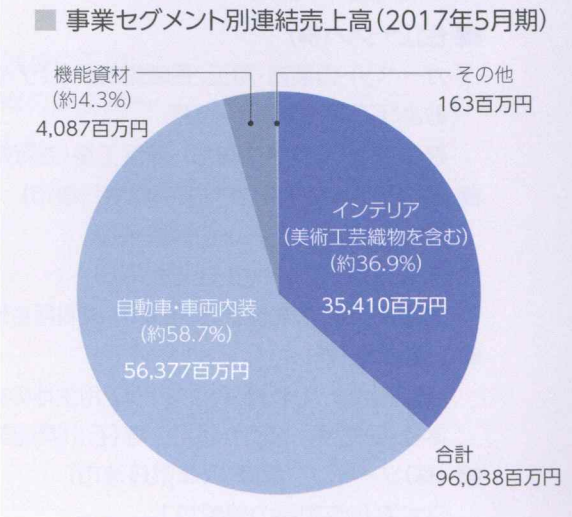
**鉄道・バス・船舶・航空機内装材**

鉄道内装材1  
写真提供元: JR東日本  
鉄道内装材2  
※カーペット・椅子張地(縦縞)  
バス内装材  
船舶内装材  
航空機内装材

**機能性資材**

浴室床材  
柿ポリフェノールサプリメント  
空気清浄機用 消臭フィルター  
Tispa®シリーズ「香りでごまかさない 本当の消臭」  
ホットカーペット

1891年(明治24年)の帝国議会議事堂開設の時に緞通を納入して以来、日本のインテリアのパイオニアメーカーとして、ライフスタイルの近代化に貢献してきた住江織物グループ。環境にやさしく、デザイン性と機能性を兼ね備えたモノづくりで、公共建築物やオフィスビル、交通機関から一般のご家庭まで、多彩なインテリア商品を幅広く提供しております。



国内事業所・国内の主な子会社

大阪住吉村に初めて工場を開いて130年余り…

住江織物グループは国内各地に拡がり、お客様のご要望に応じております

モノづくりの精神は、住江テクノ(株)を代表とする製造事業所に引き継がれており、全国に広がる販売網を通じて、人々の暮らしに彩りと快適さをお届けできるよう、日々お客様に寄り添った企業活動を行っております。

- 本社(大阪市)
- 東京支店(東京都)
- 奈良事業所(奈良県生駒郡)
- 滋賀事業所(滋賀県甲賀市)
- 京都美術工芸所(京都市)
- 札幌営業所(札幌市)
- 仙台営業所(仙台市)
- 東関東営業所(埼玉県和光市)
- 西関東営業所(神奈川県伊勢原市)
- 名古屋営業所(名古屋市中区)
- 広島営業所(広島市)
- 福岡営業所(福岡市)
- (株)スミノエ(大阪市)  
カーペット、カーテンを中心としたインテリア製品の企画・販売
- ルノン(株)(東京都)  
壁紙を中心としたインテリア製品の企画・販売
- 住江物流(株)(奈良県生駒郡)  
製品の保管・荷役・加工・配送手配
- (株)スミノエワークス(東京都)  
インテリア製品の施工
- 関西ラボラトリー(株)  
試験・検査業務  
奈良ラボ(奈良県生駒郡)・大阪ラボ(大阪府松原市)
- スミノエ テイジン テクノ(株)(大阪市)  
シート表皮材を中心とした自動車内装材の製造・販売
- 丸中装束(株)(大阪市)  
車両内装材の卸業
- 住江テクノ(株)  
カーペットの製造・加工、長繊維紡糸(リサイクル含む)  
および不織布の製造・販売  
奈良工場(奈良県生駒郡)・滋賀工場(滋賀県甲賀市)
- 丹後テクスタイル(株)(京都府京丹後市)  
緞帳、緞通、ラグマットの製造・販売
- 帝人テクロス(株)(愛知県稲沢市)  
自動車用シート表皮材、椅子張地、衣料用生地の製造・販売
- 尾張整染(株)  
自動車用シート表皮材、インテリア用生地の染色整理加工  
本社(愛知県一宮市)・石川工場(石川県能美市)
- (株)ソーイング兵庫(兵庫県丹波市)  
ファブリック製品の縫製加工

スミノエ テイジン テクノ(株)

スミノエ テイジン テクノ(株)は、住江織物(株)と帝人フロンティア(株)が2009年に設立した自動車内装材の製造・販売会社です。

住江織物(株)で培われた開発力・生産技術力と帝人グループが有する繊維素材加工技術力との統合によって、シート表皮材・天井材など自動車内装に関する各種製品をご提供しております。

近年では、従来の「繊維製品(織物・ニット)」に加え、合成皮革などの新素材の開発・販売にも取り組み、激変する市場へも対応できるようにしております。



●…住江織物(株)の事業所  
●…子会社と各営業拠点

京都美術工芸所

古くは京都・西陣の宮廷織物所の一つとして宮中や諸大名のご用命を賜り、近くは宮内庁御用達として皇族の御旗、御大典調度品、神宮式年遷宮御装束神宝御料織物の製織にご奉仕する栄誉を賜ってきました。

創業以来、連綿と受け継がれてきた美術工芸織物は、今日においても皇居宮殿、国会議事堂など我が国を代表する格式高い建造物の内装、著名な劇場ホール、学校関連の緞帳・校旗として息づいております。

近年ではコンピュータと連動した電子ジャカード織機による新たな緞帳・タペストリー・織額づくりにも取り組み、伝統技術の継承のみならず、次代を担う技術開発にも取り組んでおります。



住江物流(株)

住江物流(株)は、住江グループの製品の保管や入出庫を主業務とし、流通加工や配送手配も行う会社です。扱い品目は、カーペットばかりでなくカーテン、壁紙、自動車内装材など多岐にわたります。本部を住江織物(株)奈良事業所内に置き、全国12か所にセンターを構えております。各センターで扱い品目は異なりますが、カーペットの裁断・縫製、カーテンのカット出荷・縫製、壁紙のカット出荷などの流通加工を得意としております。

若手のセンター長が現場を管理し、女性の社員も中軸となって活躍しております。

住江グループの大切な製品を全国のお客様に正確にお届けすることをモットーに、無事故・無災害の安全第一を念頭において日々の業務にあたっております。



海外の主な子会社

安定的な生産と迅速な納入で、世界に広がる住江織物グループ

1994年にタイに海外子会社を設立して以来、アジア・北中米を中心に海外進出を加速してまいりました。現在は6か国13拠点に拡がっており、各国の日系自動車メーカーからのご要望にお応えし自動車内装材を納入、また中国ではホットカーペット、フィルターの製造を行っております。各拠点では積極的な現地社員の採用を行い、地域の雇用創出に努めております。

住江織物商貿(上海)有限公司<STS>  
上海(中国)

2010年9月、上海市の日本国総領事館すぐそばのオフィスビルの一室に、住江織物(株)100%子会社として設立いたしました。少人数ながら、商社としてのフットワークを活かし、原材料から製品まで中国国内の販売を中心に、輸出入業務も含め幅広く業務を展開しております。不織布関連商材を中心に協力工場数社を抱え、単なる仕入れ販売ではない独自商品の開発も行い、新規商材・新規顧客の開拓に注力しております。

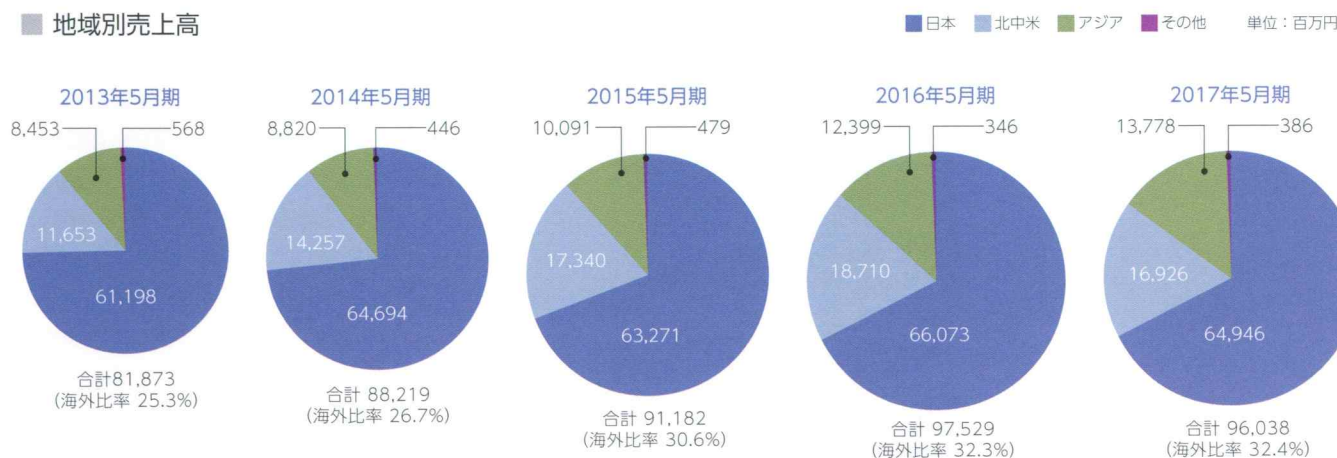


Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.<STM>  
イラプアト(メキシコ)

2013年にメキシコ中央高原のグアナフアト州に、自動車用マットの製造工場として設立されました。2015年には、カーペットの機械設備を導入し、事業を拡張いたしました。同地域は、年間を通して気温がやや高く、乾燥していますが、比較的穏やかで過ごしやすい気候です。従業員の平均年齢は32歳と若く、メキシコの経済発展、顧客からの需要拡大に合わせて、今後成長が期待される会社として、従業員一同仕事に励んでおります。



地域別売上高



PT. Suminoe Surya Techno<SST>  
バンドン(インドネシア)

2013年11月、インドネシアバンドン市に住江織物(株)とそのパートナーであるシナル社と合弁会社を設立いたしました。主に自動車用マットの製造・販売を行っており、インドネシア国内向けはもとより日本、北米、タイ向けにマットの輸出を行うなど、事業を順調に拡大してまいりました。手先の器用な従業員に支えられ、顧客へ高品質なマットの提供を行っております。SSTのスローガン「Best Quality, Best Supplier」を遵守し、更なる発展を遂げていきたいと思っております。



T.C.H. Suminoe Co., Ltd.<TCHS>  
アユタヤ(タイ)

1994年に住江織物(株)の初めての海外子会社として設立されて以来、ファブリック事業とカーペット事業を中心に事業活動を行っております。

タイでは2011年の大洪水以来、バンコク封鎖、クーデターなど様々な出来事が起こり、昨年は国民が敬愛するプミボン前国王の崩御により経済の停滞も心配されましたが、大きな影響はありませんでした。当社でも昨年末のスポーツ大会は自粛しましたが、今年に入り恒例の社員旅行が開催されました。タイの人は宴会が好きで大いに盛り上がり、日本人駐在員も微笑みに囲まれ楽しく生活しております。



## 再発防止の取り組み

米国子会社Suminoe Textile of America(以下、STA)にて発生した不適切会計問題により、皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。

住江織物グループは、明らかとなった原因の改善を今後の課題として、全社的なコーポレートガバナンス強化およびコンプライアンス徹底を行うとともに、社会の発展に貢献できる体制を再構築してまいります。

### 短期計画と今後の中長期プラン

#### 短期計画(2016年11月～2017年5月)

取り組み実績をご報告いたします。

##### (1) 企業風土改革

経営層から頻りにメッセージを発信いたしました。また、経営層を対象に役員研修を3回行いました。

関連掲載ページ P.13「役員研修・幹部社員研修」  
P.14「働きやすさアンケート(社内意識調査)2017」  
P.18「コンプライアンスガイドラインの改訂」

##### (2) 全社的な意識向上教育の実施

2017年6月以降にずれ込みましたが、コンプライアンスワークショップを住江織物(株)本社ビルを手始めに開催いたしました。

関連掲載ページ P.12「未来塾(第二期)」  
P.14「コンプライアンスワークショップ」

##### (3) 業績管理体制と子会社管理の見直し

子会社の業績や経営課題のモニタリングツールとして、月報および週報の書式の統一を行いました。

##### (4) STAのマネジメント体制の見直し

2017年6月にSTAにてコンプライアンス研修を実施いたしました。また、CFOの本部直轄化、異動(赴任・帰任)のローテーションの内規化、人事部による赴任者へのヒアリングを実施いたしました。

関連掲載ページ P.13「STAでのコンプライアンス研修」

##### (5) STAの在庫管理システムの見直し

STAにおける実地棚卸の手順を明確に定め、その重要性を認識し適切な実地棚卸の実施に繋がっております。

##### (6) 内部統制の再構築

内部通報制度として、新たにハラスメント相談窓口を設けました。内部統制(特にSTAにおける業務プロセス)の統制行為を見直しました。

関連掲載ページ P.18「内部通報窓口」

#### 中長期プラン(2017年6月～2022年12月)

今後6年間にわたり中長期プランを推進してまいります。

##### (1) 経営の“意思表示”

経営層は、現場の実情を把握し、社員とのコミュニケーションを促進するために「歩き回る経営」を実施いたします。その他、役員の役割・責任・権限の具体化、経営層のコンプライアンス研修、グローバルで共有する理念の標準化、役員報酬の見直し、中堅社員による今後の方向性および業務改善構想の検討を行なってまいります。

関連掲載ページ P.12「歩き回る経営」  
P.15「プロジェクトその1 中堅社員チーム」

##### (2) ハラスメント防止の取り組み

ハラスメント防止研修をグループ全社で継続的に実施しております。また、管理部門を対象に相談対応研修を行いました。

関連掲載ページ P.30「労働安全衛生(ハラスメント防止)」

##### (3) 業務負荷の改善実施

中長期プランの推進に伴い立ち上げたプロジェクトの「業務負荷改善チーム」にて業務負荷の実態調査を行った後、改善計画を策定し、具体的な施策を実施してまいります。

関連掲載ページ P.16「プロジェクトその2 業務負荷改善」

##### (4) グループ経営基盤の整備

上記(3)「業務負荷改善チーム」で検討した内容を加味し、業務の生産性向上・グローバル展開を支えるインフラ整備・コンプライアンス対応(システム規制、モニタリングチェック)の観点から、当社グループの発展を支える情報基盤の整備を行います。

また、今後の経営を担う人材の育成については、「人材マップ」を作成し、経営層を中心とした育成会議にて検討してまいります。

関連掲載ページ P.16「プロジェクトその3 情報基盤整備」

##### (5) 法令・CGコードへの対応の推進

最終的にはFCPAへの対応を視野にいれたコンプライアンス体制を整備いたしますが、まずは基本的なコンプライアンス知識を徹底することから進めてまいります。

また、CGコードで重視される項目についても対応してまいります。

## 取り組み実績

### 歩き回る経営

STA不適切会計問題を受け、経営層からのメッセージを社内へ発信し、各部門、グループ会社の現場の実情を把握することが大切なミッションであると痛感いたしました。これらのミッションへの取り組みとして、住江織物(株)の取締役並びに執行役員は、所属する部門以外の現場を訪れ、社員との双方向のコミュニケーションの土壌の醸成に努めました。積極的に他部門を訪れることにより部門間の壁が低くなっていくと考えております。

訪れる現場では、直接的なコミュニケーションを図る



ことによって、経営層からのメッセージや方針を浸透させるとともに、各現場の問題点の抽出とその打開策について話し合い、それらを経営メンバーで共有いたしました。

具体的には経営会議を年間2回、住江織物(株)本社以外の事業所で開催いたしました。今後は、年間5回の開催を目指してまいります。そうすることでグループ全体への経営理念の共有と浸透を図ってまいります。次世代に引き継ぐための道筋を付けるためにも「歩き回る経営」を継続して実践してまいります。



### 未来塾(第二期)

経営層と若手・中堅社員の語らいの場づくりと視野拡大を目的として希望者を募り「未来塾」を住江織物(株)本社ビルにて開催いたしました。

第二期となる今回はプチ講座として、STA不適切会計問題を受け、会社の現状と会計知識、今後の事業展開について会長兼社長より講義がありました。その後、より活発な交流ができるよう立食形式での会食を行いました。

今後は地域を拡大し、住江織物(株)本社以外での開催を予定しております。



#### 参加者の感想

- ・「質問したことに対して(会長兼社長から)率直な意見を聞けた。」
- ・「数字で俯瞰することの大切さを痛感した。」
- ・「経営メンバーと気さくに話すことができた。」
- ・「風通しの良い組織づくりを今回の不適切会計問題だけでなく、今後にも活かしていくことに期待したい。」
- ・「普段顔を合わすことのない人と話すことができ有意義だった。」

## 取り組み実績

### 各研修の実施

#### 【役員研修】

コンプライアンス意識の再醸成を目的とし、経営メンバー7名を対象に弁護士による役員研修を行いました。3回にわたる講義で、講師からは当社グループで発生した不適切会計問題を受けて、今後取るべき対応や近年企業を取り巻く環境の変化を法的な観点で指導いただきました。

1回目 (2016年12月)	テーマ: 不祥事の事後対応と会社役員の職責
2回目 (2017年2月)	テーマ: 近時の企業不祥事と企業経営上の対応課題
3回目 (2017年4月)	テーマ: 人事・労務管理の統制課題と会社役員の職責

今後もコンプライアンス徹底に向けた研修を定期的  
に実施してまいります。



#### 【幹部社員研修】

会社の中で監督・指導の役割を担う幹部社員として必須のコンプライアンスおよび会計知識を学ぶとともに風通しの良い職場づくりを考える機会として、国内の全グループ会社の管理職者約90名が集まり、2回にわたって開催いたしました。

1回目 (2017年2月)	①STA不適切会計問題について経緯説明 ②「働きやすさアンケート2017」結果報告 ③法令・企業倫理の遵守と経営幹部の職責(弁護士より) ④不正の実例紹介と不正の要因や兆候について(公認会計士より)
2回目 (2017年4月)	①会計の基礎知識 ②コンプライアンス徹底に向けた改善計画 ③コンプライアンスと幹部社員の職責(弁護士より) ④グループ討議 ・コンプライアンス上「おかしい点」のすり合わせ ・あなたの部門(会社)の風通しについて

1回目は、社内および外部講師からの講義を行いました。2回目は、講義の後「自部門であった(or起り得る)コンプライアンス上おかしいと思う例」を持ち寄ってグループ討議を行い、会社や部門を超えての意見交換、問題点やコンプライアンス意識の共有を図りました。

研修後には、各参加者が2回の研修で学んだことを職場に持ち帰って部下とのミーティングを実施し、コンプライアンスについて考える機会を持ちました。



#### 【STAでのコンプライアンス研修】

2017年6月、STAにて管理職を対象としたコンプライアンス研修を実施し、23名が参加いたしました。

外部講師から「財務諸表の不正」をテーマとし、企業の説明責任・不正発生によるステークホルダーへの影響・不正発生につながる要因など、四半期決算の重要性および事実に基づく発生主義会計の概念について講義いただきました。

今後は、参加した管理職が中心となって部署内でワークショップを行い、展開していく予定です。

(2017年6月)	テーマ:財務諸表の不正 ・アカウントビリティとは何か ・財務諸表不正に関する事実とデータ ・会計の基礎知識 ・なぜ財務諸表不正は問題なのか ・不正トライアングル ・STAで起こったこと
-----------	--

### 働きやすさアンケート(社内意識調査)2017

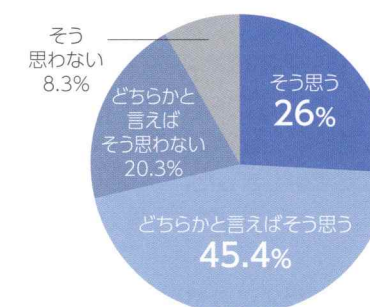
2017年1月に「働きやすさアンケート2017」を実施いたしました。今回は3回目の働きやすさアンケートであり、今後のCSRの取り組みに反映する重要なデータとしての従来の位置づけに加え、STA不適切会計問題に関する忌憚ない意見を募るアンケートとしても実施いたしました。

アンケートには、国内グループの約80%にあたる1,260名の従業員から回答があり、集約結果からは役職(管理職または一般担当職)や部門ごとの傾向が明らかとなりました。自由記述からは以前と比べて前向きな意見が多く寄せられており、これまで重点的に取り組んできた労働時間やハラスメント防止に関する取り組みが徐々に従業員に伝わってきていると考えております。より今後の再発防止に活かしていくため、集約結果および自由記述内容は経営会議、執行役員会などで検討いたしました。

今後については、集約結果を真摯に受け止めるとともに再発防止およびCSR活動に反映し、その内容が伝わる具体的なフィードバックを行ってまいります。

#### 【アンケート結果の一部】

■あなたは今の会社で長く働きたい気持ち強いですか?



#### 【アンケートについて】

国内グループの従業員1,580名を対象に実施。設問は、「業務」「職場」「会社風土」など8つの分野に分類し、各設問に対して「そう思う」⇔「そう思わない」の4段階で回答する選択形式と自由記述の2種類。

海外拠点の従業員を対象とした同様のアンケートも実施。尚、上記アンケート結果のデータには含まれておりません。

### コンプライアンスワークショップ

住江織物(株)本社を手始めとし、どうすればコンプライアンス違反を防ぐことができるのかを社員自らが考えるワークショップを開催いたしました。

STA不適切会計問題と同様のことを二度と起こさないために、当社グループの弱点を知り、基本的なルールを再確認し、それぞれの職場でリスクの高いことは何かを考えるプログラムといたしました。

また、「コンプライアンスについて職場で話し合える土壌づくり」も目的の一つとしており、ワークショップ終了後に職場でのミーティングを実施し、職場単位でレポートの提出を行いました。

#### 【レポートの内容(一部抜粋)】

事業部門のミーティングテーマ:最低限守ろう、職場のルール ~コンプライアンス違反を起こさないために~





# 3つのプロジェクトの取り組み

再発防止に向けて、経営層はもちろんのこと社内で立ち上げた委員会やプロジェクトなど様々な角度から会社としてどのような改善が必要かを検討し、ガバナンス強化およびコンプライアンス徹底に向けた短期計画および中長期プランを策定し取り組みを進めております。

その中で、より実効性のある活動を行うために立ち上げた3つのプロジェクトの取り組みをご報告いたします。

## プロジェクトその1 「中堅社員チーム」

中長期プランの施策の一つに掲げた、会長兼社長直轄の中堅社員によるプロジェクトの取り組みであり、これまで2回にわたって実施してまいりました。

### 目的

中堅社員の「部門を超えた人材交流の活性化と問題解決力の向上」

現場の実情を知り、実務を担う中堅社員が現場のリスクを洗い出し、解決策を模索・検討する

### 目標

- ・部門を超えた中堅社員の人材交流を活性化させ、問題解決力を高める
- ・相手の仕事を理解することでセクショナリズムが生まれにくい土壌を目指す
- ・自由闊達な意見交換の場をつくる

### 取り組み実績

#### 【第1回】

開催日：2017年7月24日

参加人数：30名

内容：各事業およびグループ各社から集まった中堅社員が、現場のリスクについて討議を行いました。

#### 【第2回】

開催日：2017年9月8日

参加人数：31名

内容：第1回のグループ討議で各チームから提案された課題に関して、会長兼社長と中堅社員が座談会形式で討議を行いました。



### 事務局の感想

各事業、各グループ会社の中堅社員が会して討議を行う、住江織物グループとして初の試みでしたが、メンバー間で前向きで積極的な意見交換がなされ、数多くの提案がありました。

また、会長兼社長と中堅社員との座談会形式での討議では、双方向でのコミュニケーションの中で活発な意見交換が行われ、非常に有意義な会議となりました。

### 今後について

これまでの取り組み実績の内容を整理したうえで、今後はより具体的な取り組みを行ってまいります。



## プロジェクトその2 「業務負荷改善」

日々の仕事に追われていると、コンプライアンスに対する意識は希薄になりがちです。そのためコンプライアンス意識の浸透・徹底の実効性を高めるには、業務負荷の低減を図ることが必要不可欠であると考えられます。

当プロジェクトでは今期、業務負荷の改善実施のための実態調査を行います。どのような業務にどれだけの負荷があるのか、またその要因、背景・理由は何かなどを明らかにし、次期以降の改善計画の策定、実施に繋がります。

プロジェクト設立後、これまで会議を3回開催し、業務負荷の状況確認などを行ってまいりました。

### 取り組み実績

#### 【第1回】

開催日：2017年6月15日

(情報基盤整備チームとの共有会議)

参加人数：24名(社外除く)

内容：プロジェクト推進の参考に、情報基盤の整備で実施している生産管理アセスメント調査の報告を受け、手法などを確認しました。

#### 【第2回】

開催日：2017年7月27日

参加人数：13名

内容：プロジェクトメンバーの所属部署の業務負荷の概要をヒアリングし、取り組み方法を検討しました。

#### 【第3回】

開催日：2017年9月27日

参加人数：15名

内容：以前まとめられた業務効率化の検討資料に業務負荷の現状と課題の追記を行い、状況などを確認しました。また今後の進め方についての大枠を決めました。

### まとめ

これまでプロジェクトメンバー内で実態をまとめてきましたが、多くの場面で様々な業務負荷があることがわかりました。

今後は、情報基盤整備チームと連携を取りながら、当社グループ全部門・部署を対象に、実態調査を実施してまいります。

## プロジェクトその3 「情報基盤整備」

当社グループでは、スクラッチ開発した独自のシステムによる基幹業務システムを利用しておりますが、非効率かつ属人的な業務品質、システム保守費用の増加、分社化やグローバル化などによる業務プロセスの分断による部門間の連携や統合の不備、正確で迅速な情報活用の制約といった点で課題を抱えていました。今回、これらの課題解決を目的とし、グローバル化を志向したシステム構築に取り組んでおります。

### 取り組み実績

開催期間：2017年4月～9月

開催回数：32回

参加延べ人数：356人

- 主な実施項目：・カーマツ向けアセスメント  
・インドネシア工場アセスメント  
・カーペット事業向けアセスメント  
・次期基幹システムFitting作業

### 事務局の感想

新基幹システムには、海外工場でも実績のあるERPパッケージの導入を検討しております。本プロジェクトでは、現行業務に合わせてのシステム開発手法(スクラッチ)ではなく、最適化されたERPパッケージの業務フローに極力

合わせる手法(パッケージ導入)を選択しております。プロジェクトメンバーの多くは、実運用イメージを持っていませんでしたが、検証環境を先行導入し実際に入力するといった工夫をすることで、理解が深まりました。また、日々の業務が忙しい中、時間を割いて積極的に取り組んでおります。

### 今後の予定

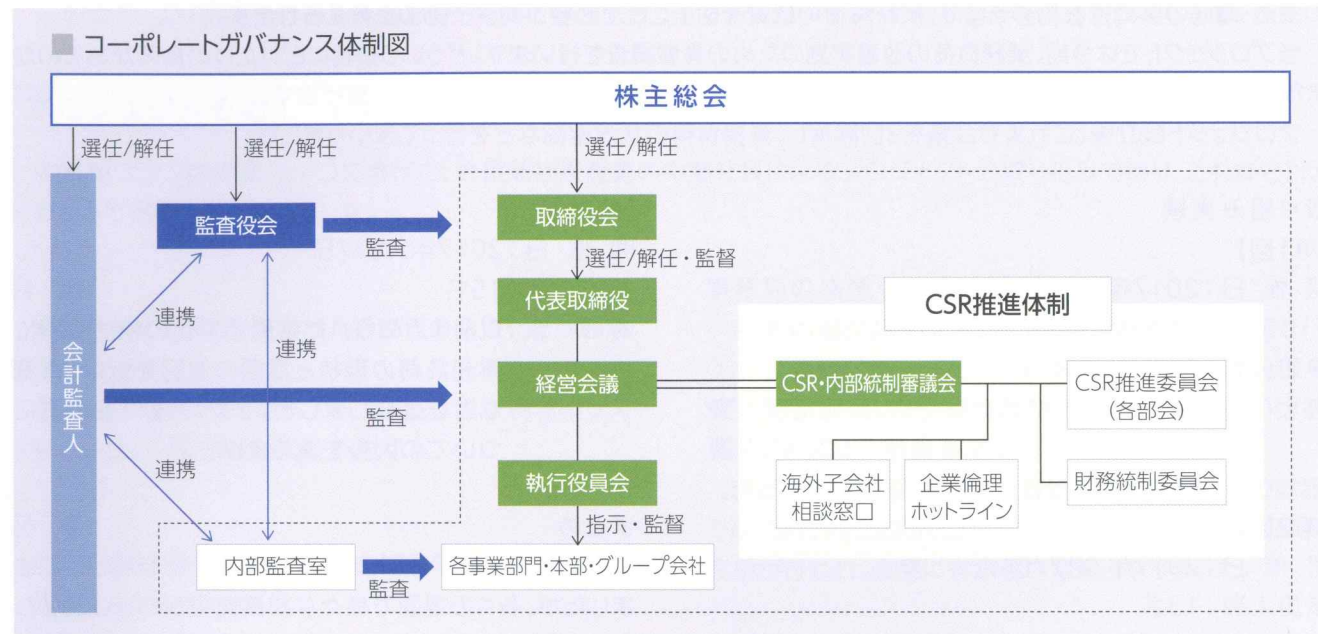
パッケージでは不足する機能の開発や他システムとの連携機能を開発し、モデルケースの事業セグメントを2018年6月より運用を開始する予定です。あわせて導入に際し、現業務の過不足を見直し業務の最適化を目指してまいります。他のセグメントについては、並行して順次展開する予定です。

※本内容は2017年10月6日 現在のものです。

コーポレートガバナンス※1

当社は次のようなガバナンス体制をとっております。STA不適切会計問題を要因とする再発防止のため、監査役スタッフの増強による監査役機能強化、内部監査室の人員増強など、モニタリング機関の充実を中心として、ガバナンス強化を進めております。また、取締役会評価を実施いたしました。評価結果について真摯に受け止め、改善を進めてまいります。

※1コーポレートガバナンス: 一般的に「企業統治」と訳され、経営の透明性や企業価値の向上を目的に企業経営を管理・監督する仕組み。



取締役会

8名の取締役(うち、社外取締役2名)で構成し、業務執行の監督および重要事項の決定を行っております。

監査役会

監査役3名(うち、社外監査役2名)で構成し、監査方針・計画の決定、監査報告についての協議を行っております。

経営会議 / CSR・内部統制審議会

経営会議は、原則毎週開催し、経営上重要事項の報告・審議を行い、特に重要事項については、取締役会に上申いたします。CSRに関する重要事項および財務報告に係る内部統制の評価については、CSR・内部統制審議会として審議いたします。常勤監査役1名がオブザーバーとして参加しております。

執行役員会

社長以下、執行役員で構成され、毎月1回開催されます。取締役会もしくは経営会議での決定事項の通達および各執行範囲における現状の報告が行われます。



後列: 山下 恭史 社外監査役 世一 秀直 社外監査役 小瀬 邦彦 常勤監査役 三村 善英 取締役 沢井 克之 取締役 永田 鉄平 取締役  
前列: 横田 隆司 社外取締役 飯田 均 代表取締役専務 吉川 一三 代表取締役会長兼社長 谷原 義明 代表取締役専務 清水 春生 社外取締役

コンプライアンス

コンプライアンスの取り組みについて、見直しを始めております。

コンプライアンスガイダンスの改訂

企業行動基準をなぜ守らなければならないか、どのように守るのかについて解説を加え、改訂いたしました。また、重要な社内規程、個人情報保護方針、秘密保持誓約書、就業規則における懲戒処分などについても新たに解説いたしました。携帯に便利なコンパクトな手帳サイズに変更し、英語版、中国語版も整備いたしました。



内部通報窓口

ハラスメントの専門家に気軽に安心して相談できる窓口を2017年4月より新たに設置いたしました。これにより従来の社内通報窓口、社外弁護士窓口、健康相談窓口でのハラスメント相談の計4つの窓口を設けております。入社時、階層別研修、コンプライアンス研修時などの機会に利用を呼び掛けております。

CSR推進体制

2014年にCSR推進委員会を発足し、コンプライアンス意識の啓発、ハラスメント防止研修の実施、労働時間管理、社員の活性化に関する取り組みなど、様々なCSR活動を進めてまいりました。

今後は、年に4回開催するCSR推進委員会にて、通常のCSR活動に加えて中長期プラン(P.11)の計画審議、進捗状況の確認と課題の検討を行い、ガバナンス強化およびコンプライアンス徹底を着実に推進してまいります。



CSR推進委員会

# 住江織物グループの技術や製品には、こんなへえ〜!な一面が

住江織物グループの技術や製品は130年以上の歴史を重ねてきた中で多岐にわたります。お客様のご要望にお応えし、また環境負荷を考慮した製品づくりを行う中で、あまり知られていない様々な実績を積み重ねてまいりました。

## 環境への貢献

### インテリア

ECOS®バックリングをご採用いただくと、杉の木の吸収量に換算して年間約**41**万本分のCO<sub>2</sub>を削減

杉の木41万本分とは、面積にすると、東京ドーム約**75**個分



ECOS®(LXシリーズ)



【解説】

#### 【ECOS®の年間CO<sub>2</sub>吸収量】

LXシリーズ ECOS®バックリングをご採用いただいた場合、PVCバックリングと比較して年間で杉の木約41万本のCO<sub>2</sub>を吸収します。41万本の杉林の面積を東京ドーム(4.7ヘクタール)で換算すると約75個分に相当します。

この計算はLXシリーズの生産で生じたGHG(温室効果ガス)排出量を杉の木のCO<sub>2</sub>吸収量で除した数字です。

### 住江テクノ(株)

スミトロン®1kgあたり、ペットボトル約**19**本をリサイクル



リサイクル繊維「スミトロン®」



【解説】

#### 【スミトロン®1kgあたり、ペットボトル約19本をリサイクル】

わたしたちがスミトロン®をつくる時、使用済みペットボトルから再生したチップを50%とポリエステルピュアチップを50%使用します。

ペットボトル(500ml)1本当り再生チップは26g出来るため、スミトロン®1kgあたり、ペットボトル(500ml)約19本をリサイクルしていることとなります。

ペットボトルを繊維としてよみがえらせ、カーペットやカーテンの素材として用いることで、環境負荷の低減やごみの削減に貢献しています。

### インテリア

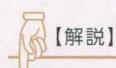
1年間に廃棄されるタイルカーペットの約**12**%を再生利用



廃棄されたタイルカーペット



新しいタイルカーペット (ECOS® iD-4100)



【解説】

#### 【1年間に廃棄されるタイルカーペットの12%を再生利用】

廃棄されたタイルカーペットは専門の業者によってリサイクルされ、新しいタイルカーペットを製造するときの材料の一部として再利用されます。これが「水平循環型リサイクルタイルカーペット」と言われる理由です。

それでは、国内で廃棄されたタイルカーペット(自社製品以外も含む)のうち、わたしたちはどのくらいの量を再生利用しているのでしょうか。

新しいタイルカーペットをつくる時に使用するリサイクルパウダー※の使用量と日本のタイルカーペットのリニューアル市場規模(廃棄されたタイルカーペットと同等と見て)で計算したところ、再生利用率は約12%となりました。

※リサイクルパウダー：使用済みタイルカーペットから合成樹脂素材を高効率で取り出した、再生ポリ塩化ビニルコンパウンド。

### 機能資材

再生PET **90**%以上を使用した不織布の製造



蘇州住江(中国)にて不織布製造



原綿



ホットカーペット



【解説】

#### 【再生PET90%以上を使用した不織布の製造】

蘇州住江織物有限公司(中国)ではホットカーペットの本体(ヒーター)およびその主要部材である不織布を製造しています。不織布の原料には再生PETを使用しており、その使用比率は90%以上です。環境に配慮した製品づくりを行っております。

車両

国内の鉄道用  
シート地の  
**65%**が  
住江製品

こんな内装材も!



京王電鉄



日本全国、住江製品の旅!

旅行や出張で遠出をしたとき、  
気付けば座っていたのは住江の製品ばかり  
だった!なんてことも。

尾張整染(株) 石川工場



1分間に  
約**7.9m**  
製品をチェック

尾張整染(株)石川工場では、出来上がった製品にキズや汚れがないか出荷前に目視でのチェックを行っています。検査員は全員が検定に合格しており、出荷の際には誰が検査をしたのかが分かるようになっています。

検反機1台で1日にチェックする平均の長さを勤務時間で除して計算しました。



丹後テクスタイル(株)

30.3cm角の織基布に  
平均**4,200**粒の  
パイル糸を植え付け



丹後テクスタイル(株)で製造している「丹後織通」は、フックガンと呼ばれる器具で基布に押し込むように糸を植え付けて絵柄を表現していきます。

また、手織織通は悠久の歴史をもち、邪馬台国の時代にまで遡ると言われています。

# 信頼の品質

【住江小ネタ】

住江テクノ(株)奈良工場の織機には、山や川などの名前がつけられている

恵那、五竜、万里、御岳、有珠、千里、赤石、高見、苗場、高野、天保、長江、月山、鉢伏などの名前がつけられています。工場設立当時、地方からの出身者が多かったため、馴染みやすい名称にしようといつけられたと言われています。



各織機の名前が  
一覧できる  
工場天井の表示板

住江織物(株)テクニカルセンター



ISO国際会議

当社の  
消臭試験方法が  
**ISO17299-5**  
に採用されました



国際的な  
試験方法となる、  
共通の  
テスト方法

当社が開発・提案した繊維製品の消臭試験方法が国際規格ISO 17299-5に採用されました。

これにより、国際的に認められ、世界共通の試験方法となりました。

【ISO17299とは】  
5つのパートからなる繊維製品の消臭性能を評価する方法

【ISO17299-5のメリット】  
実際の室内環境と同じ、混合臭を使用した評価が可能

- ・成分毎の測定は不要で、試験回数が1回で済む
- ・複数種の臭気成分が干渉したときの消臭性能の変化も確認できる

ISO26000を参考ガイドラインとし、7つの取り組み分野に分け、中期的な取り組みを掲げております。  
2016年度の実績は次の通りです。

A:達成 B:ほぼ達成 C:未達成

取り組み分野	関連ページ	重点項目	主なテーマ	2016年度の取り組み目標	2016年度実績	自己評価
ガバナンス・コンプライアンス	P.17~18	コーポレート・ガバナンス	公正な企業活動の推進のために、取締役会・監査役会および各種委員会での検討	・取締役会・監査役会の開催と、CSR推進委員会での活動計画の審議	・STA不適切会計問題を踏まえ、業績管理体制の見直しや監査役会のモニタリングについて改善を実施してきたが、十分ではなかった	B
			評価範囲内対象会社について、財務報告に係る内部統制の有効性を評価	・財務統制委員会を中心とした活動実施 【目標:開示すべき重要な不備件数 0件】	・開示すべき重要な不備があったと判断し内部統制報告書を提出	C
		コンプライアンス	住江織物グループ行動規範および行動基準の浸透	住江織物グループコンプライアンスプログラムの確立 ・各階層別研修でのコンプライアンス研修 ・新入社員へのコンプライアンスガイダンス配布および基礎知識講習 ・その他、イントラや集合形式での研修 【計画比実施率:100%】	・各階層別研修、新入社員研修でのコンプライアンス研修実施 【計画比実施率:100%】 STA不適切会計問題を踏まえ、コンプライアンス研修実施(役員研修、幹部研修、ワークショップ)	A
			コンプライアンスに関するモニタリングの継続実施	・ローテーションによるコンプライアンス監査の実施【計画比実施率:100%】	・コンプライアンス監査の実施【計画比実施率:100%】 海外子会社への監査を重点的に実施予定	B
		ホットラインの周知	・新規入社者へのホットライン周知 ・階層別研修、ハラスメント防止研修にてホットライン周知【目標:100%】	・新規入社者へのホットライン周知 ・階層別研修、ハラスメント防止研修、ワークショップなどの機会にホットライン周知【目標:100%⇒実績:100%】 海外子会社を主としたホットライン制度の運用を見直す予定	B	
事業債行	P.33	公正な取引	契約状況の見える化・取引に関する法務教育およびモニタリングを実施	・下請法に関するイントラネットまたは集合形式での研修実施 ・内部監査実施【計画比実施率:100%】	・下請法に関する集合形式での研修実施 ・内部監査実施【計画比実施率:100%】	A
		グリーン調達	グリーン調達ガイドラインの推進	・サプライヤーへのガイドラインの配布と帳票の回収【目標:年1回】	・サプライヤーへのガイドラインの配布と帳票の回収を実施【目標:年1回⇒実績:年1回】	A
人権・採用・人事処遇・育成	P.29~32	多様性の尊重	多様性を尊重し、働きやすい職場づくりを実施	・子会社より障がい者雇用率達成に向けて、対策案を提出→期末の振り返り(株)スミノエ、ルノン(株)、住江物流(株)、住江テクノ(株)、丹後テクスタイル(株)、帯人テクロス(株)、尾張整染(株)	・住江織物(株)単体での障がい者雇用率は未達成(法定雇用人数は達成) ・子会社での対策は未実施	C
			シニア社員への評価フィードバック時に上司面談を実施 ・CSRレポートでの活躍PR	・シニア社員への評価フィードバック時に上司面談を実施 ・CSRレポートでの活躍PR	A	
		人材育成	自らの能力向上の支援としての集合教育の実施	・階層別・テーマ別研修の実施と内容の充実	階層別研修:内容の検討を例年通り実施 テーマ別研修:「タイムマネジメント」のテーマを選定し、実施	A
			グローバル人材の育成	・グローバル人材育成システムの基礎づくり	・新入社員および希望者のTOEIC受験 ・語学研修(通学式レッスン、通信教育、赴任前語学研修)の実施 ・グローバル人材育成システムの基礎づくりは未実施	B
		女性活躍	・女性活躍サポートフォーラムへの派遣 ・管理職対象女性部下指導研修等の検討 ・CSRレポートでの女性活躍PR ・各階層別研修での女性活躍PR	下記実施 ・女性活躍サポートフォーラムへの派遣 ・CSRレポートでの女性活躍PR ・各階層別研修での女性活躍PR また、部下指導研修に代え、管理部門対象女性活躍セミナーを実施	A	
		人材活性化	人材活性化への取り組み実施 ・「未来塾」の開催 ・その他、今後の取り組みを検討	・「未来塾」の開催 ・人事部にて、今後の活性化への取り組み検討	B	
安全・防災・健康	P.30	労働安全衛生	社員の安全を守るための活動計画を推進	・安全衛生委員会設置事業所での取り組みの共有 ・小規模事業所の安全衛生推進者・衛生推進者の設置 ・安全教育の定期実施 【目標:休業件数での労災度数率1】	・重大労働災害が発生したため、中央安全衛生部会による重大労働災害現場確認および再発防止を目的とした注意喚起の実施 ・中央安全衛生部会メンバーが工場巡視を行い、取り組みの意見交換を実施 ・安全教育の定期実施 【目標:休業件数での労災度数率1⇒実績:2.35】	C
			防災訓練の実施 【計画比実施率:100%】	・防災訓練の実施 【計画比実施率:100%】	A	

取り組み分野	関連ページ	重点項目	主なテーマ	2016年度の取り組み目標	2016年度実績	自己評価
安全・防災・健康	P.30	労働安全衛生	社員の健康を保持するためのケアを実施	・ハラスメント防止研修の実施 ・行動ルールの見直し ・健康相談室サービスの広報 ・ストレスチェックの実施	・ハラスメント防止研修の実施 ・ハラスメント相談窓口を新たに設置 ・健康相談室サービスの広報 ・ストレスチェックの実施	A
				・営業所を含め、全ての事業所に客観的な労働時間把握ツールを導入 ・労働時間を定期的にチェックし、長時間労働者への指導がされる仕組みの定着 ・ワークライフバランスとしての取り組みを検討	・主要な事業所および営業所へのタイムレコーダー導入 ・労働時間の定期的なチェック、タイムレコーダーとの乖離の確認と指導 ・管理職対象労働法セミナーを4拠点で実施	A
環境	P.35~40	事業活動における環境負荷の低減	地球温暖化防止	P.38に掲載		
リスクマネジメント	P.33~34	BCP	災害時の事業継続計画推進	・本事業所での安否確認訓練から得意先への情報発信訓練まで実施 ・他事業所での安否確認訓練を実施	・本事業所での安否確認を実施	B
			知的財産権	知的財産権への理解促進	・知的財産権に関する啓発活動の実施(社内イントラ・研修) 【計画比実施率:100%】	・知的財産権に関する啓発活動の実施(社内イントラ・研修) 【計画比実施率:100%】
		情報セキュリティ	情報セキュリティ教育の実施(情報端末セキュリティ、個人情報保護)	・情報セキュリティ教育実施	・情報セキュリティ教育実施	A
			インサイダー取引防止啓発活動の実施	・インサイダー取引防止に関する啓発活動を引き続き実施	・新任役員への啓発活動実施 ・社内イントラでの啓発活動実施	A
		品質向上	品質向上の取り組み推進	・品質保証合同会議の定期開催(年4回)と、品質向上(不良率低減、品質損失金額低減)活動と化学物質規制に関する状況共有の取り組みを継続実施	・品質保証合同会議の開催(1、4、7、10月) ・品質向上(不良率低減、品質損失金額低減)活動と化学物質規制に関する情報共有の取り組みを継続実施	A
		顧客満足度の向上	お客様対応と社内への展開	・お客様センターの問い合わせ内容のCSR推進委員会への報告 ・CSRレポートへお客様の声を生かした商品を掲載	・お客様センターへの問い合わせ:2,184件 その内、商品・規格・価格・機能性に関する問い合わせは47%(1,026件)、ご指摘が5%(107件) ・お客様の声を生かした商品について、次期以降に検討	B
消費者・社会貢献活動	P.41	外部コミュニケーション	ステークホルダーとのコミュニケーション促進(当社の強みをPR)	・従来の外部コミュニケーションの実施 ・CSRブランドに関する情報集め ・取り組みの検討開始	・決算短信4半期ごとに東証への適時開示および自社HPに掲載を遅滞なく実施	A
			社会貢献活動	地域への貢献 環境関連の社会貢献活動実施	・決定した活動について、実施準備を始める	・JAPANTECH2016、第83回東京インターナショナル・ギフトショーなど、展示会へ出展 ・2016年5月期決算発表の遅れから機関投資家との面談は通常より減ったが、限られた面談のなかで積極的に機関投資家とのコミュニケーションを図り、当社事業および業績への理解を促進 ・ホームページでの法定開示資料に加え、IRミーティングでの配布資料を掲載するなど、積極的に情報を開示 ・CSRブランドに関しては、今後取り組む
					・地域への貢献、環境関連の活動については引き続き実施し、当社グループの社会貢献の指針(分野、コンセプト)について検討中	B

# お客様とともに(納入実績)

住江織物グループでは、お客様とともに、一般生活者の方々に快適な空間をお届けいたします。



## インテリア関連納入実績

### コンラッド大阪



アトリウムラウンジ



客室



40スカイパー&ラウンジ

コンラッド大阪は、2017年6月9日に誕生したヒルトングループの最高級ブランドホテルです。大阪の中心である中之島フェスティバルタワー・ウエストの最高階階、地上200メートルに位置します。

ホテルのコンセプトは“Your Adress in the Sky”。その通り、眼下には大阪の市街が広がり、まるで天空にきたかのような印象です。全ての客室において大阪の開放的なパノラマビューを眺めながら自分だけのインスピレーション溢れる時間を過ごすことができます。

光や風、雨、星などといった自然現象をより身近に感じられることから“自然現象”がデザインのコンセプトです。各空間で宇宙、風、天の川、星座、大地などが表現されています。吹抜けにはカーペットが立体的に見えるグラフィックを施し、目の錯覚を楽しんでいただけます。そしてそこには3層をつなぐ螺旋階段があり、風に舞い上がるリボンのような姿が印象的です。館内のいたるところに著名アーティストによるアート作品が配されており、モダンデザイン、絶景、アートが融合した大人の社交場のようなホテルです。

このたび当社は客室、パブリック全てのカーペットおよび客室カーテンなどのインテリア製品を納入いたしました。



〈営業担当者の想い〉  
(株)スミノエ  
西日本開発部 課長  
岩見 亜紀

オープン以降、SNSやメディアで多数取り上げられている今関西で最も注目のホテルです。当社は、得意先であるインテリアデザイナーの方々と打合せしながらカーペット・カーテンを納入いたしました。

まず最初は2014年夏の客室カーペットコンペでした。短期間でコンセプトに見合った提案をするのが難しく、考え得る限りの全ての方々にご協力いただき、提案に臨みました。内定した際には飛び上がる程嬉しかったのを覚えております。

それをきっかけにパブリック全てのカーペットと客室カーテンの提案をご採用いただいたこともこの上ない喜びです。また、コンセプトと当社製品が融合しており、そして前述の通りの人気ぶりに重ねて嬉しく思っております。

ご採用いただいた事業主様、ホテルオペレーター様、デザイナー様、そして協力会社の皆様に感謝を申し上げます。



〈デザイン担当者の想い〉  
(株)スミノエ  
デザイン部 主任  
河津 庸子

ホテル全体は、自然現象をテーマにデザインされてきました。利用するお客様に喜んでいただけるようインテリアデザイナーの方々と幾度も打合せを重ねました。客室フロアや宴会場などは星をモチーフにしており、空間のモダンな雰囲気は崩さずに、隠しモチーフとしてギリシャ神話に基づいた星座をこっそり忍ばせています。見つけていただいたときの笑顔を想像し、わくわくしながら描くことができました。完成したホテルはとても開放感があり、アートに溢れた素敵な空間でした。

長期にわたり、多くの関係者の方々に協力していただき無事納入に至ったこと、大変感謝しております。また、このような大きなプロジェクトのデザインに関われたこと、とても光栄に思います。

## 産業資材関連納入実績

### 日野自動車(株) プロフィア/レンジャー



大型・中型トラック販売で国内トップシェアである日野自動車(株)は、純国産トラック誕生から100年を迎える2017年に、次の100年を築くモデルとして6代目 レンジャー(4月5日)および3代目 プロフィア(5月22日)を発売開始しました。新しいモデルには平成28年排ガス規制に適合するエンジン、安全装備機能の充実など、トラック業界が抱える様々な課題点を解決するため、多くの技術が搭載されております。

自動車内装材を扱う当社としては、トラックが多くのドライバーの方々にとって動く職場であることを考慮し、実用性、快適性を重視した表皮材の提案を行い、PVCレザーをご採用いただくに至りました(実用シート)。

繊細なエンボス表現の技術を用いることで、単純な幾何学柄だけではなく、微妙な光沢変化を持ちあわせた、新鮮な意匠表現のPVCレザーとなっております。若者や女性を含めた幅広いドライバーに気に入っていただけるようなデザイン性の高い表皮材です。



〈営業担当者の想い〉  
スミノエ テイジン テクノ(株)  
第一営業部  
吉澤 武志

プロフィアは14年ぶり、レンジャーでは16年ぶりのフルモデルチェンジということで開発がスタートしました。

シート表皮については、繊細なエンボス表現や複雑な変化を持たせた光沢感などの意匠的側面や、トラックという使用環境を考慮した耐久性など、細部にわたってこだわった表皮開発となりました。

設計担当者と密に打合せを行い、多くのドライバーの方々に快適にご使用いただけるシート、強いては空間にできるように、何度も繰り返し試作を行い、ご満足いただける商品を目指したモノづくりを行ってまいりました。

ようやく発売に至り、実際にご利用いただくドライバーの方々にご満足いただければ幸いです。



〈設計担当者の想い〉  
スミノエ テイジン テクノ(株)  
開発センター 合皮開発部  
川村 明弘

PVCレザーは、国内向けとしては2017年に初めて量産化した新規商材です。

トラック用PVCレザーの開発からスタートしましたが、メイン材用PVCレザーの開発においては、自動車メーカーからのコンセプトを満足させる意匠開発は困難をきわめ、納得できる商品を開発することができませんでした。しかし、ファブリックで培ってきたエンボス表現技術を応用することで、光沢感と複雑な変化を持たせた幾何学柄PVCレザーを商品化することができました。

トラック用表皮材は乗用車用表皮材と比較して高い耐久性が必要ですが、各分野の方々のご協力を仰ぎ、デザイン性と耐久性を両立させた新商品を開発することができました。

車両関連納入実績

東日本旅客鉄道(株) E235系「山手線」量産車



JR東日本では、輸送品質の安定性と快適性を高め、お客様に安心してご利用いただける鉄道づくりを推進しており、首都圏の通勤形電車の新型車両への取替えを順次進めております。E235系はこれまでの技術開発成果を取り入れた次世代車両で、お客様の声を踏まえ、荷物の上げ下げをやすくするため、荷棚の高さを5cm低くし、また、お客様が触れる手すりの清潔感を保つため、手すりの表面に繊細な凹凸を付与する加工を施しております。

2017年5月22日以降、順次営業運転を開始し、2017年度末までに15編成の投入を予定しております。2020年春頃までに残りの34編成を投入し、これにより山手線を走るE235系は、量産先行車と合わせ50編成(550両)となる予定です。

デザイン監修はケンオクヤマデザインがご担当し、山手線伝統の黄緑色をモダンなグラデーションで表現したデザインです。当社製のシート表皮材・クッション材が採用されております。



〈営業担当者の想い〉  
東日本車両営業部  
東京車両営業グループ  
佐藤 健

山手線伝統の黄緑色をモチーフに、ケンオクヤマデザイン監修のもと新系列車両では初めて特殊加工を施し、凹凸感のある表皮材を開発しました。

繊細な濃淡の黄緑色をベースに、様々な地紋を組み合わせたスクエア柄を提案しご採用いただきました。

優先席も従来のデザインから一新し、車椅子やベビーカーにも優しい、『優先席』のロゴをインクジェットプリントにて表現し、多くの方が安全・快適に利用できる車両の製作の一助となれたと思っております。

〈納入企業様からのコメント〉  
東日本旅客鉄道(株)  
運輸車両部 車両技術センター 在来線車両G  
天沼 秀草様

鉄道車両の部品にはお客さまが安全・快適に過ごす事が出来るために、耐久性・メンテナンス性・難燃性能など様々な機能が求められます。特に不特定多数のお客さまが腰を下ろす腰掛には、それらの機能が高次元で調和していることに加え、車内の印象を大きく左右する部品であるためデザイン性も求められます。

今回のE235系の腰掛の表皮では従来のE233系で培われてきた機能を継承しつつ、山手線をモチーフとした黄緑色を基調としたデザインを取り入れることで、山手線をご利用になるお客さまが安全・安心・快適に車内で過ごすことができ、次世代山手線に調和した製品に仕上がっています。

機能資材関連納入実績

シャープ(株) ASEAN向け空気清浄機用フィルター



シャープ(株)は国内の空気清浄機市場で高いシェアを有しており、中国をはじめ世界各地へシェアを拡大されています。当社は国内向け空気清浄機の一部機種で脱臭フィルターを供給しておりますが、この度、海外シェア拡大の一環として開発されましたASEAN市場向け空気清浄機に、当社の脱臭フィルターが採用されました。

ASEAN諸国では現在、HAZE\*と呼ばれる煙害が大きな公害問題として取り上げられております。脱臭フィル

ターの開発段階において、当社テクニカルセンターでHAZEに含まれる有害ガスや悪臭に対する除去効果を個々に検証し、当社製フィルターがHAZEに有効な性能を有しているとの評価を得ることが出来ました。

空気清浄機の対象ガスや対象臭気は使用される環境で様々に異なります。当社がこれまでに蓄積してきた消臭・脱臭に関する技術や経験をうまく融合し、ニーズに柔軟に対応することで実現できた商品です。



〈営業担当者の想い〉  
機能資材事業部 大阪第1営業部  
小森 弘大

日本国内の空気清浄機市場が横ばいの中、海外市場のニーズを捉えた商品開発を進められているシャープ(株)様の取り組みは大変素晴らしいと感じております。私も脱臭フィルターのサプライヤーの一員として、市場の不便、不満、不快を解消したいというニーズに応えたモノづくりをしたいと考えており、今回HAZE対応脱臭フィルターの開発依頼を受けた際は大変嬉しく思いました。新たな取り組みにはもちろんリスクが伴いますが、常に挑戦する姿勢を忘れず、商品開発を通して自らの力を高めていきたいと思っております。

〈納入企業様からのコメント〉  
シャープ(株) 健康・環境システム事業本部  
空調・PCI事業部 PCI技術部 課長  
重本 直之様

シンガポール・マレーシアにて深刻な公害問題となっているHAZEは、現地におられる方々にとって大きな困り事となっています。このようなHAZE被害を少しでも軽減できないかと考え、住江織物様ご協力のもと、HAZEに含まれる有害ガスや悪臭に対して除去効果のある脱臭フィルターを搭載した空気清浄機の製品化を実現することができました。

今回開発いただいた脱臭フィルターは現地でも高い評価をいただいております。今後もこのような形で現地ニーズを汲み上げた商品開発へのご支援を引き続きよろしくお願いたします。

\*HAZE(ヘイズ):インドネシア・スマトラ島などで大規模な野焼きや森林火災により生じた煙がマレー半島やシンガポールに流れることにより生じる煙害。咳やくしゃみ、喘息などの症状が出ることもある。

# 従業員とともに (多様性の尊重・人材育成・労働安全衛生)

住江織物グループは、企業の持続的成長の源泉は人材であり、一人ひとりが能力を最大限発揮し成長することが重要と考えております。性別・年齢・国籍を超えて多様な人材がいきいきと活躍できる環境をつくっていくことを大切に取り組んでおります。

## 多様性の尊重

### ●新卒採用者数

当社国内グループの2017年4月新卒入社者は36名で、女性比率は33.3%、過去3年間の女性比率は32.5%となっております。\*新卒採用実績:住江織物(株)、(株)スミノエ、ルノン(株)、住江物流(株)、丹後テクスタイル(株)、住江テクノ(株)

### ●海外勤務者数

グローバル展開に伴い、海外グループ会社での勤務者数(海外駐在含む)は1,339名\*となり、5年前と比較して1.7倍となりました。労使で定期的に海外拠点の職場・生活環境の視察を行うなど、今後も海外勤務者のフォローを継続してまいります。\*2017年5月末時点

### ●育児・介護について

育児・介護と仕事を両立し、安心して働けるよう支援制度の拡充に取り組んでおります。

未消化で失効した年次有給休暇を看護・介護事由でも取得できるサポート休暇制度の他、勤務時間の短縮、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ制度についても、国内グループ各社順次改定を進めております。

## 女性活躍推進・両立支援

2016年3月に住江織物(株)および(株)スミノエで策定した女性活躍推進計画の進捗をご報告いたします。

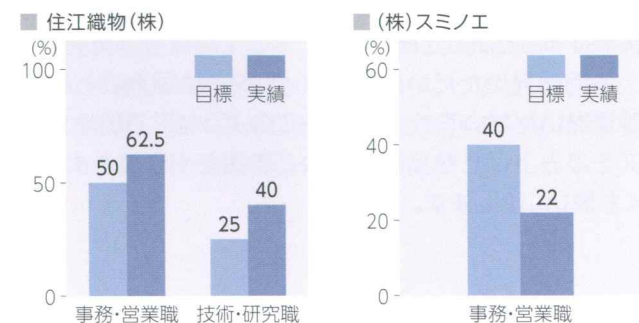
### 1. 計画期間:2016年4月~2018年5月

### 2. 目標と進捗状況

#### 目標1:新卒採用における女性採用比率

住江織物(株)…事務・営業職 50%以上、技術・研究職 25%以上  
(株)スミノエ…事務・営業職 40%以上

#### ■2017年新卒採用



### ■主な仕事と育児・介護の両立支援制度(住江織物(株)の場合)

\*2017年6月1日時点

制度の名称	特徴
育児休業	子どもが満1歳(延長1歳6ヶ月)まで取得可
勤務時間の短縮	子どもが小学校3年生の3月末に達するまで1日2時間を限度に30分単位で短縮
始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	子どもが小学校卒業の3月末に達するまで1時間以内15分単位で繰り上げ・繰り下げ
介護休業	通算183日間
勤務時間の短縮	介護事由が止むまで1日2時間を限度に30分単位で短縮
始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	介護事由が止むまで1時間以内15分単位で繰り上げ・繰り下げ
サポート休暇	家族の看護(連続3日以上)・介護のための休暇を有給で取得可

### ■実績の推移

	2015年度	2016年度	
育児休業関係	育児休業 取得者数	5名	8名
	復職率	87.5%	100%
	短時間勤務 取得者数	13名	3名
	始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ 取得者数	6名	3名
介護休業関係	介護休業 取得者数	0名	0名
	短時間勤務 取得者数	1名	1名

### 目標2:ライフイベントを経ても継続就業し、かつキャリアアップを狙える仕組みづくり

2017年6月、育児休業等に関する規程を改定いたしました。今後も、セーフティネットとしての支援制度を整えつつ、キャリアアップが可能な働き方を推奨してまいります。2017年7月には管理部門対象の女性活躍セミナーを実施いたしました。

### 目標3:働きやすさアンケート(社員意識調査)の女性活躍に関する設問ポイント0.1UP

設問ポイントアップを目標に掲げておりますが、結果は年々低下しております。社員が実感としてより女性活躍を感じられる取り組みが求められていると認識しております。人材の活性化について討議する人事第3部会と連携し、取り組みを進めてまいります。

## 人材育成(研修体系・実績・グローバル化への対応)

国内グループ会社合同で研修を実施しております。研修体系は、階層別、役割別、選択型に区分けし、様々なカリキュラムを用意しております。選択型の自己啓発研修は、通信教育講座と語学研修があります。

例えば、語学研修は、グローバル化が進む中、英語を中心に語学力を高めるため、語学学校へ通学する研修として実施しております。受講料の個人負担がありますが、修了時に出席率に応じて奨励金を支給しております。

2017年6月より、さらに受講しやすいように奨励金の金額、支給条件の見直しを行いました。

### ■研修受講者の実績 2016年6月~2017年5月

研修体系		計	男	女
階層別、役割別 選択型 (スキルアップ)	集合研修	150	119	31
	通信教育	98	46	52
選択型 (自己啓発)	語学研修	14	8	6

## 労働安全衛生(安全活動の取り組み)

当社グループでは、各事業所において安全衛生委員会(小規模事業所では安全衛生推進者)が主体となって労働災害の撲滅に取り組んでおります。

中央安全衛生部会としては、各事業所で実施している「安全衛生に関する提案事例」「現場での注意喚起事例」「自動車安全講習」「熱中症対策」などの情報の集約および共有化を行い、労働災害の未然防止活動を推進いたしました。その結果、グループの労働災害件数は減少いたしました。しかし、休業災害件数は増加し、今期目標「休業件数での労災度数率1.0以下」はクリア出来ませんでした。今後、事故発生現場の確認が重要と考え、事故後の対策を確認し、

### 〈語学研修に参加して〉

日々の業務の中で海外グループ会社とのやりとりがありますが、現地スタッフとの英語でのコミュニケーションをよりスムーズに行えるようになることを期待し、語学研修に参加しました。

語学学校での授業はネイティブの教師と2,3人の生徒でのロールプレイングが中心で、ビジネスの場で実際に起こり得る会話表現を、一度の授業で1テーマ、反復して練習することができました。

また、その場の状況に合った丁寧表現などの微妙なニュアンスの違いを教えていただいたのは、語学学校ならではの利点であると感じました。

今後、海外グループ会社のスタッフに依頼や問い合わせをする際には、業務が円滑に進むよう、今回の研修で学んだ表現方法を活かしていきたいです。



財務部 財務グループ  
山下 可奈子

## 労働安全衛生(労働時間管理)

人事第1部会では、労働時間の現状把握を定期的に行い、改善取り組みの検討を行っております。在社時間が長時間である社員と上司へその理由と改善施策のヒアリングや、ノー残業推進デーの呼びかけを繰り返すことにより、徐々に効果が表れてくるようになってきました。

## 労働安全衛生(ハラスメント防止)

働きやすい職場環境づくりを目的に、グループ全体でハラスメント防止研修に取り組んでおります。3年目となる2017年度は、国内事業所11拠点にて実施いたしました。

また、2017年7月に各社管理部を対象とした「ハラス

対策不十分であれば指導を徹底いたします。また、CSR推進委員会でも事故内容が重大であることを共有し、グループ丸となって労働災害「0」に取り組んでまいります。

### ■住江織物国内グループ 労働災害度数率\*推移



出典:厚生労働省「平成28年労働災害動向調査」  
\*労働災害度数率:100万労働時間あたりの労働災害による死者数

また、活動の一環として、2014年度より管理職を対象に労働法セミナーを開催しており、2016年度は4拠点で実施し、法令上から労働時間に関する注意喚起を行っております。今後は、再発防止プロジェクトによる業務実態の把握を並行して進めることで、根本的な労働時間の改善を行ってまいります。



ハラスメント防止研修



## 人材活性化と女性活躍推進

### 女性活躍インタビュー



尾張整染(株) 石川工場  
車輻インテリア事業部  
営業統括部材料技術室  
沖 千恵美

#### 現在の仕事内容を教えてください

自動車のシートの開発で生地にプリントをする仕事をしています。具体的には、求められるイメージに沿って顔料や薬品を調節して、生地に柄を表現していきます。入社するときから、自分の個性を出せる仕事がいいなと思っていたので、今の仕事はすごく楽しいです。化学の知識がなかったので日々勉強しながら仕事をしています。

#### 喜びや楽しさを感じるのはどんなときですか？

一番楽しいのは、初回のプリントのスクリーンを外して仕上がりを見る瞬間です。予想した通りできるときも嬉しいですが、予想と違うものができたときにも逆に興味が湧いたり新しい発見ができます。また、これまでに印象に残っているのは、大きな車種のコンペで何度も改修が入り作り直しましたが、お客様のイメージ通りにならず、諦めざるを得なかったことです。すごく悔しくて、今でも心に残っています。出来るだけお客様の望むものを出したいという想いは、この仕事をしている人は皆持つものかなと思います。

#### 心掛けていることはありますか？

2年に1度、社内の展示会があり、各自が考えたアイデアを持ち寄ってお客様に見ていただきます。私は生地での設計はできないので1からモノづくりをすることは常に手探りですが、提案する力を磨いていこうと心掛けています。実際に仕事でも、視点を変えた提案をすることで予想以上に喜んでいただけることもあり、嬉しい瞬間です。

また、今の職場が子育てしながら働くのに環境・雰囲気よかったことに感謝しています。恵まれた環境を基に、これからも私らしく色々なことに挑戦していきたいです。



蘇州住江小出汽車用品有限公司  
生産管理部  
黄 旭娟

#### 蘇州住江小出に入社した理由は何ですか？

入社する前に、住江は日本でも大きな会社で、良い待遇で働く環境も整っている会社だと先輩から聞きました。今後会社の中で自分の能力を伸ばし、チャレンジできる仕事環境でもあると思い、是非入社したいと思っていました。

#### どのような仕事を経験してきましたか？ やりがいや喜びを感じるのはどんな時ですか？

入社して、最初は生産ラインの作業員として働きました。その後、部品倉庫の管理係になり、今は生産管理部の担当です。今の仕事は、自分が努力することで上司や同僚と交流ができますし、スムーズに仕事を遂行することで周囲から評価してもらえるのでやりがいがあります。一所懸命に仕事をしていると、自分も知らないうちに成長できているのは嬉しいです。

#### 仕事をする中で大切にしていることはありますか？ また、やる気の源は何ですか？

自分の仕事に熱心になり、まじめな態度で責任を持つことを大切にしています。また、同僚間の交流とチームワークも大切だと思っています。

日本人のまじめな仕事態度に私は深く影響を受けました。仕事をすると同時に仕事の方法などを周りから勉強出来るのでとても充実しています。今の仕事が好きで、会社の将来も必ずいい発展があると信じており、このことはやる気の源です。

#### 今後の夢や目標を教えてください

日本語をもっと勉強して、自分の能力も向上させて、一つひとつの仕事をしっかりとこなしたいです。そして、会社と一緒に成長して、ずっとこの好きな仕事をしていくことが私の目標です。



### シニア社員の活躍



(株)スミノエ 業務統括部  
漆谷 秀一  
1980年 東京支店入社。その後、コントラスト3課、中小設計(設計事務所への営業活動)、多摩連絡所での勤務を経て受注業務担当へ。  
1995年 業務統括部(東京)  
2011年 業務統括部(東京)次長  
2012年 業務統括部(大阪)へ異動  
2014年 業務統括部(大阪)部長  
2016年 定年

#### 現在の仕事内容を教えてください

関連会社8社を含んだインテリア事業部門の収支の見通しを的確に把握してまとめること、また各々の期初計画や修正計画の策定にも携わって日々業務に邁進しています。これらは重要な会議にも提出される資料なので、作成は緻密でとても気を遣います。各会社や関係部署と交渉して修正、またすり合わせて…と繰り返しながら計画を作っていきます。見通しも月に3回くらいは進捗を問合わせて、現状を反映させるように努力しています。長い間この仕事をやっているの、いつ何をしなければならぬのか身についており、さらに一歩先を見据えて行動するようにしています。これは経験を積んできた私にしかできないことかなと自負しているところです。

#### どのような意識で日々仕事をしていますか？

数字を扱っていると各会社の動きがよく分かりますが、それだけでなく世の中の情報も得ようと意識しています。数字ばかりではつまらないですからね。あとは、数字には何が隠れているのかを確かめます。数字に動きが見られたら、この要因は何ですか?と聞いてみます。この仕事は自分で充分に考えてやってみることが大切かなと思います。私もいまだに失敗もしますが、

その都度また覚えていっています。今後については、徐々にやっている後輩への仕事のシフトを続けていきたいです。

#### これまでの会社人生でどのようなことを感じてきましたか？

私の心構えでもありますが、「小欲知足」です。あまりいろいろな物を欲しがらず、現在の状態で満足すること。欲望を捨てるのではなく、与えられた現実を素直に受け入れること。そのように考えるようになってから、色々欲を出さずに、仕事に心を込めてやりたいと思うようになりました。シニア社員になってからもモチベーションは特に変わっていません。頼りにされているから、頑張らな!という思いが強く、やりがいを感じています。必要にされるということは一番大切なのではないかなと思っています。

#### シニア社員として仕事を続けられる方へのメッセージ

健康を第一に考え、心を穏やかに、仕事を楽しむくらいの余裕のある気持ちで、一緒に頑張っていきたいです。

#### 〈同僚からのメッセージ〉

これまで同じ部署で仕事をしてきた中で、まじめで優しく、時に言うべきことはきっちりと言われている印象はずっと変わりません。穏やかで、一見するとバリバリ仕事をされているようには感じないのですが、こなされる仕事の量や質にはいつも驚かされています。

何より、何事も先んじて予測、準備して仕事を進められ、社長をはじめとする周りの方をフォローされる姿勢は見習っていきたくて思っております。



(株)スミノエ 業務統括部  
仁熊 隆人

### 海外現地社員の紹介



インド: Suminoe Teijin Techno  
Krishna India Pvt. Ltd. (STK)

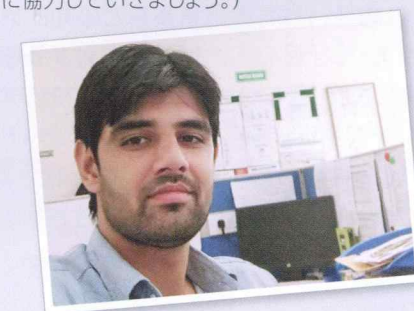


外注管理担当  
Sandeep Sangwan

- ①入社した年 ②入社した理由
- ③仕事内容とおもしろさを感じているところ
- ④Suminoe のここが好き ⑤私の強み
- ⑥私を色で表すと ⑦最近のマイブーム
- ⑧地域のおすすめスポット
- ⑨Suminoe グループの社員にひと言

- ①2013年12月
- ②Suminoeに入る前は経験も少なかったため、有名な企業に入って技術力を身に付け、創意工夫ができる環境が必要だったため。
- ③外注管理(織物・編物・染色加工)を担当しています。重大なデリバリー問題を解決できたときや、問題の根本原因を発見し対処策の実施がうまくいったときにおもしろさを感じます。
- ④企業文化と上司からのサポート。上司と同僚から受けた指導が素晴らしく、個人として、チームのメンバーとして、私を成長させてくれました。
- ⑤冷静で正直であること。積極性。

- ⑥平和の象徴で、どんな色にも混ざることができる白色。
- ⑦バレーボール、バスケットボール、知らないところに旅をすること。
- ⑧Kasol, Himachal Pradesh (India)  
ヒマーチャル・プラデーシュ州 カソル(インド)
- ⑨We are proud to be part of Suminoe group. Over the years, the company has a great legacy, we must work together to take that legacy forward as well as for the self-growth.  
(住江グループの一員であることを誇りに思っています。住江は長い歴史を持つ伝統ある会社です。個々人が成長していくことに加え、この伝統を次の世代へと引き継いでいくために、互いに協力していきましょう。)



# お取引先様とともに・リスクマネジメント

事業活動にあたり公正かつ自由な競争の維持・促進を努めること、購買業務において法令を遵守することを「住江織物グループ企業行動基準」で定めております。また、リスクマネジメントを重視した経営を行っており、2016年度は国内事業所のリスクアセスメント、海外子会社のリスク、知的財産権などに関する活動を行ってまいりました。

## お取引先様とともに

### 公正な取引(下請法遵守に関わる活動)

当社グループでは、「よい製品を生産し、販売し、社業の隆盛をはかり社会の向上に貢献する」ことを目的としております。その目的達成のために、〈お取引先様との信頼関係の深化〉を非常に重要なものとして位置づけております。特に、下請法を厳守し、下請取引の適正かつ円滑な運営を図るための諸施策に、継続して取り組んでおります。

内部監査室による「下請法監査」の実施や、公正取引委員会・中小企業庁の調査に協力する過程で、下請取引実態の把握・改善に努めております。

また、教育・啓発施策としては、下請法違反行為の未然防止や従業員の下請法に関する意識向上を図るために、CSR推進室による「下請法研修」を実施しております。2016年度は、2事業所で計3回実施し、延べ19部署78名が参加いたしました。

以上の諸施策を含め、関連法令の周知徹底などを今後も継続的に実施し、お取引先様とのより一層の関係強化を目指してまいります。

## リスクマネジメント

### 事業継続計画(BCP※1)の進捗

以前より当社グループでは、災害発生時に企業としての信頼の継続のためには、お客様への迅速で正確な情報発信をキーとして捉え、安否・被災状況などの情報収集を重視したBCP行動計画の策定に取り組んでまいりました。

過去、住江織物(株)本社ビルでは社内緊急連絡ルールに従ってBCP安否確認訓練を実施し、その都度不備な点は改善してまいりました。

今後はより確実に安否情報を伝達するため、ルールのブラッシュアップを行い、グループ全体に展開していく予定にしております。

※1 BCP: Business Continuity Planningの略称で、災害や事故等の緊急事態が発生した際に事業の継続や復旧が速やかに行えるよう策定される計画。

### 知的財産権の取り組み

継続的に事業を展開するには、知的財産権の確保はもちろんのこと、さらに商品・技術競争力の向上には知的財産権の活用が欠かせません。当然、販売、開発、製造の各現場で、意匠、商標、特許・実用新案などの知的財産権は深く関わりがあり、社員の知的財産権に対する意識の向上および理解促進を図る活動に取り組んでおります。

具体的には、計画的に年6回、社内イントラネット上の「知的財産NEWS」に知財に関する内容を掲載しております。2016年度は、「展示会への出展時の注意したいポ

イント」や「商標法改正による“新しいタイプの商標”の登録例」を掲載いたしました。

また、定期的で開催している技術会議(奈良・大阪)の中で、特許公開公報や特許公報の紹介や、知財に関する事柄を紹介しております。

今後とも、教育・啓発を継続的に行いながら、事業の基幹分野および得意分野をはじめ競争優位に立つべく、特許出願、取得活動を推進し、事業を守り事業活動への貢献をしてまいります。

### リスクマネジメント-国内事業所のリスク管理

STA不適切会計問題を踏まえ、国内事業所や他の海外事業所でも同様の事象が起こる可能性がないか、財務報告の重要な虚偽表示リスクを中心として把握を進めており、財務統制委員会およびCSR推進委員会にて検

討しております。把握したリスクについては、軽減策を挙げ、「二度とこのようなことを起こさない」ために管理してまいります。

### リスクマネジメント-海外子会社のリスク管理

現在、現場主導のリスクマネジメント(以下、RM)導入の海外子会社は、中国の住江互太(広州)汽車繊維製品有限公司(SPM)とタイのT.C.H.Suminoe(TCHS)の2社で、活発な活動を継続しているSPM(中国)をご紹介します。

#### SPM(中国):モデルケースとして着手し、RM構築手法を確立し4年目

過去、「火災対応」、「人材流出の防止」、「原価低減」をテーマとし成果を上げてきましたが、今期は今後の経営課題となる「仕入先管理強化」に着手し、新規仕入先の開拓、現仕入先の定期評価、および各仕入先問題の早期把握と対策を実施することによる、品質・納期・コスト・協力体制の改善に取り組んでおります。

すでにRM導入に向けてSTM(メキシコ)とSST(インドネシア)にて講習会を実施し、今後はRM導入各社の活動状況を注視するとともに、さらに他の海外工場に横展開

してまいります。

今回のSTA不適切会計問題の再発防止策として最も重要かつ時間を要する「企業風土改革」にて、特に海外子会社においては住江織物(株)本社の目が届きにくいいため、各海外子会社の現場にてリスク感覚を醸成するとともに、各国固有のカントリーリスクにも対応する必要性が益々大きくなりました。また併せて、住江織物(株)本社からの牽制機能の強化として海外子会社監査の強化が必要との認識に至りました。

よって、この現場主導のRM活動推進と並行して、外部監査法人のサポートのもと、地域特性やビジネスモデル特性を勘案し、ミッション、ビジネスモデルおよびリスクを事前に理解・評価した上で、高リスクの領域を対象に効果的・効率的な現地往査を実施し、監査視点によるモニタリングも併せて行い、海外子会社のRM強化を図ることいたしました。



健康 環境 リサイクル アメニティ  
**KKR+A**のテーマのもとに

わたしたち住江織物グループは、「K … 健康」、「K … 環境」、「R … リサイクル」そして「A … アメニティ:快適さ」を基本理念として、室内環境改善やリサイクル材の活用、環境負荷の低減など、環境保全への取り組みを続けております。



環境基本理念

近年、地球環境の悪化が急速に進んでいます。その地球にくらしている私たち人類が地球環境の維持と改善に努め、美しい自然を子孫に譲り渡すことは人類共通の使命であります。住江織物はこのことを認識し、従業員全員が環境保全に積極的に取り組むことによって、住みよい豊かな社会をつくりまします。

住江織物グループ環境対策宣言

1998年に発表した環境対策宣言を見直し、2009年に新たな7つの宣言として改訂し着実に推進しております。

**宣言1** 室内環境を改善し、快適な空間を実現します。

タバコ臭やペット臭、生活悪臭に加え、シックハウスの原因となるホルムアルデヒドなどを吸着・分解して消臭する「トリプルフレッシュ®加工」のカーペット、カーテン、壁紙、車両内装品や、アレルギーの働きを抑制する「アレルブロック®加工」、お肌に優しい「スキンケア加工」などにより、安心・快適な空間を実現します。

**宣言2** 循環型社会に対応し、リサイクル材を積極的に採用します。

ペットボトルから製造されたポリエステル系の「スミトロン®」、使用済みタイルカーペットを回収し、リサイクルする「タイルカーペットリサイクルシステム」、リサイクル性に優れた鉄道車両用シートクッション材「スミキューブ®」、ビールケースなどから再生されたPP樹脂の簡易二重床「SEライトN」などリサイクル材を積極的に活用して環境保全と資源の有効利用に取り組んでいます。

**宣言3** CO<sub>2</sub>削減と環境負荷を低減させる製品を提供します。

地球温暖化防止に向けた低炭素社会実現の一端を担うため、原料、製造、輸送、使用、廃棄といった製品のライフサイクル全体にわたって、環境負荷を総合的かつ定量的に評価するライフサイクルアセスメント(LCA)手法に基づく「ローカーボン製品」を開発・提供いたします。

**宣言4** 安心・安全な素材を使用し、健康と環境に配慮します。

法的な規制はもちろん、シックハウスの原因となるVOCや廃棄時に問題となる重金属等を含まない安心・安全な製品提供とともに、ウール・麻・綿などの天然素材も積極的に活用します。また、火災時に有毒ガスの発生が少ないオレフィン系床材などで、人に優しい製品づくりに努めます。

**宣言5** 製造から製品に至るまで、省資源・省エネルギーに取り組めます。

製造時における材料、副資材、水、エネルギーのロス低減による資源の有効活用を図るとともに、省エネ設備の更新推進、品質向上、製品の軽量化、容器・梱包の簡素化、減量化を図り、輸送効率、使用効率、廃棄効率を追求し、省資源・省エネルギー化を推進いたします。

**宣言6** 最新情報に基づき、環境負荷物質の適正管理を推進します。

製品に使用する材料に対して、特定の化学物質の含有に関する制限が、内外ともに強化されております。この対応として、対象製品すべてにわたって確認し、サプライチェーンマネジメント(SCM)の考え方に基づいた使用材料の適正管理を図るとともに、最新の安全性に関する情報入手・把握に努めます。

**宣言7** エコを意識した製品を提案・提供します。

製品の見た目や機能面での環境配慮だけでなく、製造の過程で用いる資源やエネルギーなどを最小化し、易リサイクル化、製品の長寿命化、廃棄処理の最適化を見据えた「エコデザイン思想」に基づく、製品およびシステムの提案・提供に努めます。

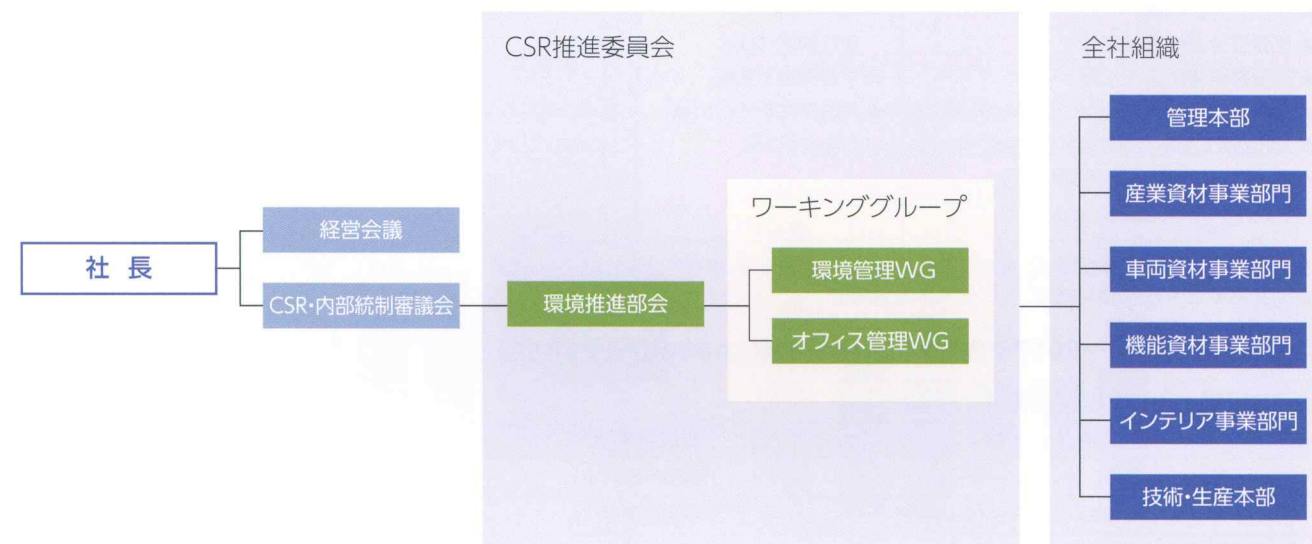
行動指針

環境保全を実施するにあたって

- 1 私たちは、企業活動全般にわたって環境を汚染することのないように配慮しつつ、積極的に省エネ・省資源・リサイクルを推進します。
- 2 私たちは、環境に配慮した技術と商品を開発することにより、生産から販売、廃棄に至るまで商品ライフサイクルを通して環境保全に努めます。
  - ① 省エネ、省資源技術の開発
  - ② リサイクル技術・リサイクルシステムの開発
  - ③ 環境負荷がより少なく、安全性がより高い原材料への置き換え技術及び商品の開発
  - ④ 室内環境を改善し、健康及び快適性に貢献する商品の開発
- 3 私たちは、地域社会とのコミュニケーションを通じて社会との共生をはかり、全従業員が小さなことでもできることから行動を起こします。
- 4 私たちは、環境保全推進のため社内体制の整備と、全従業員の環境意識の高揚に努めます。

環境推進体制

CSR推進委員会内に環境推進部会を置き、立案・決定された環境施策を全社組織で実行しております。



環境マネジメントシステムの導入状況

2000年度に生産事業所である奈良事業所がグループとして初めてISO14001認証を取得。その後順次導入し現在国内の5生産事業所においてISO14001の認証を、1事業所でエコ・アクション21の認証を取得しております。

	ISO14001:2004		ISO14001:2015	エコ・アクション21:2009
	奈良事業所・滋賀事業所	帝人テクロス(株)	尾張整染(株)本社・石川工場	丹後テクスタイル(株)
審査登録機関	日本規格協会	日本品質保証機構	日本品質保証機構	持続性推進機構
登録番号	JSAE 235	JQA-EM1519	JQA-EM3114	0009522
登録	2000年5月	2001年4月	2003年3月	2013年7月
更新	第5回済(2015年5月)	第5回済(2016年4月)	第5回済(2017年7月)	第2回済(2017年7月)

# 第4次中期行動目標—エコチャレンジ2018—

## 環境との関わり

当社グループの事業と環境とは、製品の開発設計から資材調達・生産・販売・物流、そして使用・廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を通して、また日頃の事業活動においても深い関わりをもっています。

住江織物グループでは、製品のライフサイクル、また事業活動全体が環境に与える影響を把握するよう努め、環境負荷低減に取り組んでおります。特に、使用済みタイルカーペットから再生された塩ビパウダーや、ペットボトルから再生された原綿やポリエステルペレットなどの再生材料を積極的に使用するなど、環境に優しい製品づくりを進めております。CSR活動においても環境配慮に重点を置き、「エコチャレンジ2018」の目標を掲げ、全グループで取り組んでおります。

## エコチャレンジ2018(第4次中期行動目標)

環境に関する第4次中期行動目標として、エコチャレンジ2018を設定しております。  
2015～2017年度の3か年を行動期間として取り組みを進めております。

### 対象範囲



★ 国内生産事業所：再生資源利用、産業廃棄物発生量(再資源化率、埋立処分率)、PRTRの対象  
☆ 海外生産事業所：使用エネルギー、水使用量のみ対象

■ 期間：2015年度～2017年度(3年計画、データ期間2015年6月～2018年5月)

### 行動目標と2016年度実績

No	取り組み項目	最終目標値	基準年度	2016年度目標値	2016年度実績	評価	
1	地球温暖化防止	使用エネルギーの削減	3%削減(原単位)	2014年	-2%	-10.4%	○
		社有車の燃料使用量の削減	3%削減(原単位)	2014年	-2%	-22.7%	○
2	省資源	水使用量の削減	3%削減(原単位)	2014年	-2%	-5.6%	○
		再生資源利用率の向上	3%向上	2014年	2%	0.9%	△
3	廃棄物の3R	産業廃棄物発生量の削減	3%削減(原単位)	2014年	-2%	4.8%	△
		再資源化率の向上	65%以上	-	65%以上	61.1%	△
		埋立処分率の低減	10%以下	-	10%以下	11.7%	△
4	環境汚染防止	大気汚染防止(NOx排出量削減)	3%削減(原単位)	2014年	-2%	-11.5%	○
		PRTR取り扱い量の削減	3%削減(原単位)	2014年	-2%	0.3%	△
5	グリーン活動推進	事務用品のグリーン購入率向上	95%以上	-	95%以上	89.7%	△
		コピー用紙使用量の削減	3%削減(総量)	2014年	-2%	5.3%	△
6	製品のLCA評価促進	LCA評価 18アイテム	-	6アイテム	27アイテム	○	
7	環境に配慮した技術の開発促進	環境に配慮した技術の開発促進	3件	-	1件	1件	○
		環境に配慮した製品の開発促進	9件	-	3件	3件	○
8	事業活動における生物多様性の保全活動	-	-	-	-	-	
9	海外生産事業所における環境負荷の集約と低減	全海外生産事業所のデータ集約	2014年	+2社	+3社	○	

■ 原単位：分母を連結売上高にして計算する。

■ 換算係数：CO<sub>2</sub>排出量は温対法に基づく排出係数で算出。NOxの換算係数はエコアクション21 2002年版で算出。海外生産事業所のCO<sub>2</sub>排出量は、GHGプロトコルの2007年の各国ごとの排出係数で算出。

# エコチャレンジ2018(2016年度実績)

2016年度実績を使用・調達(インプット)と排出・発生(アウトプット)に分類して掲載しております。使用エネルギーと水使用量で削減目標を達成しました。その他の項目を含め、今後さらに取り組みを進めてまいります。

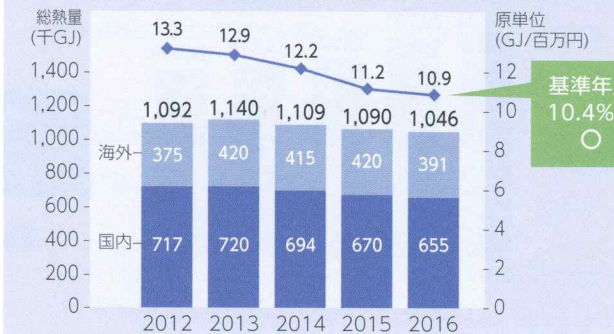
## INPUT

### 使用エネルギーの削減

地球温暖化防止

省エネ活動の成果を、使用エネルギーの熱量換算値\*で確認しております。総熱量・原単位とも前期より減少いたしました。  
\*熱量換算値：単位=GJ[ギガジュール]

#### ■ 使用エネルギー(熱量換算値)の推移 [海外含む]

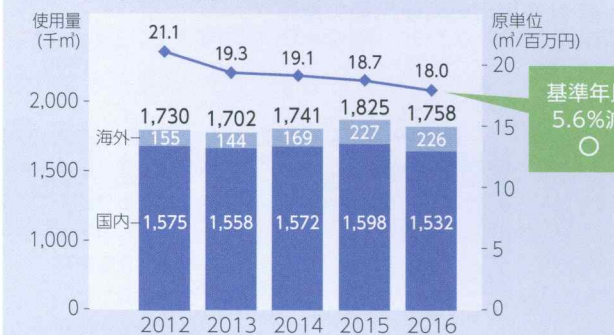


### 水使用量の削減

省資源

冷却水の循環利用などに努めております。2016年度は国内事業所・海外事業所とも使用量・原単位とも前期より減少いたしました。

#### ■ 水使用量の推移 [海外含む]



### 再生資源利用率の向上

省資源

再生資源を原材料に積極的に投入、省資源化を進めております。2016年度は主力工場にて再生資源率の低い製品の製造が増え、利用率が伸び悩みました。

#### ■ 再生資源利用率の推移



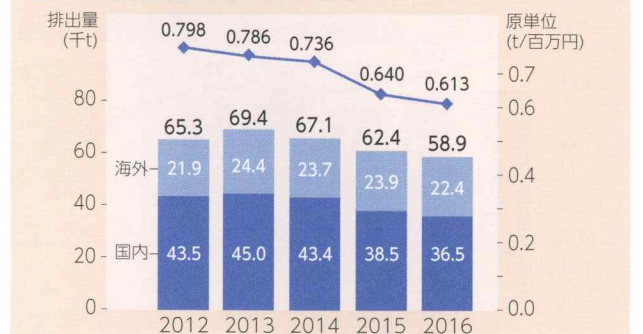
## OUTPUT

### CO<sub>2</sub>排出量の削減

参考データ

企業活動が地球温暖化に及ぼす影響をCO<sub>2</sub>排出量で確認しております。総量・原単位とも前期より減少いたしました。

#### ■ CO<sub>2</sub>排出量の推移 [海外含む]



### 産業廃棄物発生量の削減

廃棄物の3R

生産に投入される材料のロス削減や不適品品の撲滅、また資源の有効活用など、廃棄物発生量の抑制に今後も努めてまいります。

#### ■ 産業廃棄物発生量の推移



### 再資源化率の向上・埋立処分率の低減

廃棄物の3R

今期目標は一部未達となりましたが、長期的な改善傾向を維持するべく努めてまいります。

#### ■ 再資源化率・埋立処分率の推移



エコチャレンジ2018(2016年度実績)

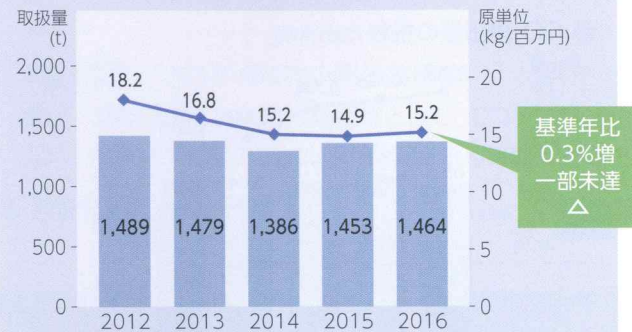
INPUT

PRTR取扱い量の削減

環境汚染防止

難燃剤のDBDE(デカブロモジフェニルエーテル)やフッ素系撥水剤のPFOA(ペルフルオロオクタン酸)などが各種規制により将来的に使用制限されるため、より安全な代替物質に置き換えつつあります。

PRTR取り扱い量の推移



OUTPUT

大気汚染物質排出量の削減

環境汚染防止

大気汚染物質には、窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、粉じんなどがありますが、代表としてNOxを記載しております。NOxの排出量は、エコアクション21の2002年版の低減対策が行われていない施設の排出係数で算出しております。

Nox排出量の推移



GREEN PURCHASING

当社グループでは、生産・製造以外を含めた全ての事業活動にわたり、環境に配慮した取り組みを進めております。

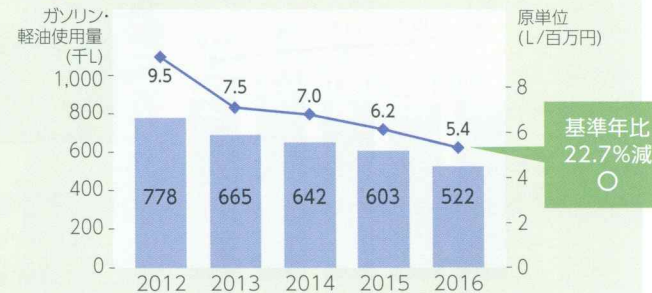
社有車の燃料使用量の削減

地球温暖化防止

エコドライブの推進、また、エコカーへの積極的な転換を進めるなど、社有車の燃料使用量の削減に努めております。

2012年度以降、エコチャレンジ2018の行動期間中を通して順調に目標を達成しております。

社有車の燃料使用量の推移



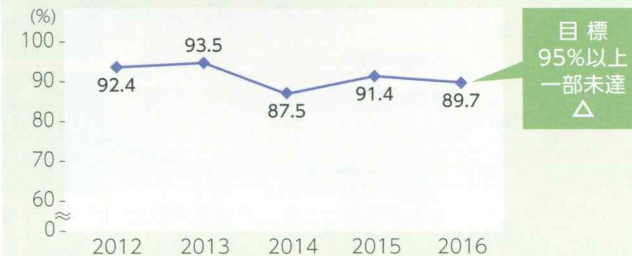
事務用品のグリーン購入率向上

グリーン活動の推進

資源採取から廃棄に至る、ライフサイクル全体にわたる環境負荷の低減を考慮した物品などの、積極的な購入に努めております。

一部目標未達の事業所の取り組み強化など、今後の推進力を高めてまいります。

事務用品のグリーン購入率の推移



コピー用紙の使用量の削減

グリーン活動の推進

イントラネットの普及や裏紙の利用などにより、コピー用紙使用量の削減を推進しております。長期的な削減傾向を維持すべく今後も努めてまいります。

コピー用紙の使用量の推移



製品のLCA評価促進

製品のLCA\*評価促進(目標6アイテム)

製品のLCA評価を自社内で行う体制を整え、2015~2017年度の3年間で18アイテムの評価を目標に掲げております。2016年度は単年度目標6アイテムのところ、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®(エコス)」について2マーク27アイテムの評価を行いました。

\*LCA:製品の原材料調達から、生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおける投入資源、環境負荷およびそれらによる地球や生態系への潜在的な環境影響を定量的に評価する手法、ライフサイクルアセスメントの略称。



27アイテム 目標達成 ○

環境に配慮した技術の開発促進・環境に配慮した製品の開発促進

環境に配慮した技術の開発促進(目標1件)

1 ECOS®タイルカーペットの生産性向上技術

2016年度に導入した製造技術により、ラインスピードのアップなど、生産性の向上をはかりました。

1件 目標達成 ○

環境に配慮した製品の開発促進(目標3件)

1 ペットボトルのリサイクルおよびバイオ由来のPETを用いた「スミロン®」使用の自動車用フロアマット

2 燃焼時に塩素ガスを発生しない「バス用合成皮革シート表皮材」

3 シャワー使用後の乾燥時間を大幅に短縮した「親水・速乾シャワーカーテン」

3件 目標達成 ○

事業活動における生物多様性の保全活動

2011年度に生物多様性の保全活動について取り組み方針を策定し、2013年度から事業所毎に特色のある活動を実施しております。

取り組み方針

1 事業活動が生物多様性に及ぼす影響の低減

- ・生産事業所内および周辺での生物多様性のモニタリング調査を行う。
- ・植樹を行う場合は、外来種ではなく、地域に自生している在来種を使う。
- ・事業所周辺の清掃を定期的に行い、草刈りなどで環境を整備する。
- ・生物資源を原材料として使用する場合は、その持続可能性を確認する。
- ・リサイクル原材料を使用した製品開発とリサイクルシステムの構築を積極的に行う。
- ・環境マネジメントシステムに生物多様性の保全活動を組み入れる。
- ・事業所毎に取り組める新たな生物多様性の保全活動を推進する。

2 サプライチェーン全体での生物多様性への影響低減にむけた取引先様への活動

- ・グリーン調達ガイドラインで、取引先様への生物多様性保全活動の協力を依頼する。

3 社会貢献活動

- ・森林保全活動を行う団体を支援する。
- ・みどりの募金活動に協力する。

取り組み実績

〈住江織物(株)奈良事業所〉

事業所の南を流れる岡崎川(奈良県・安堵町)周辺を桜並木の遊歩道に整備する「安堵桜友会」に参加し、桜の手入れなど協力しています。

〈住江テクノ(株)滋賀工場〉

地元甲賀市の花「ささゆり」の増殖に取り組んでいます。人と自然の共生の象徴であるささゆりは、近年その数が減少していますが、今シーズンは、工場敷地内に地植えした株が美しい花を咲かせました。

〈尾張整染(株)本社工場〉

木曾川などでホテル飼育に取り組む「一宮平成ホテルの会」に賛助会員として参加しております。



海外生産事業所における環境負荷の集約と低減

海外生産事業所のデータ集約

エコチャレンジ2018では、すでに対象範囲に含まれる5社に加え、全海外生産事業所の環境関連データ集約を行動期間中にスタートさせることを目標としております。2016年度は単年度目標2社に対し、3社\*の集約を開始いたしました。\*STK(インド)、Bondtex(米国)、STM(メキシコ)。新規集約3社のデータは今年度実績に含めておりません。

3社 目標達成 ○

# 社会貢献活動

地域の皆さまとともに生きる企業市民として、社会と積極的に関わりを持ち、地域の環境保全および活性化に取り組んでまいります。



## 地域清掃活動

周辺地域の美化を目的に、各事業所で清掃活動に参加いたしました。従業員一人ひとりが環境への高い意識を持ち、継続的に活動に参加してまいります。



帝人テクロス(株)  
「ごみゼロ運動いなざわ」  
2017年5月 50名参加



STA(米国)  
公道ゴミ拾い  
10名参加

## 職業体験・インターンシップ・学校行事への協力

2016年度も近隣の学校からの工場見学・インターンシップを受け入れました。学生は熱心な様子で工場内の見学や実際の業務を体験しました。また、TCHS(タイ)では遊休設備の丸編機2台をラジャマンガラ工科大学タンヤブリ校テキスタイル工学科に寄贈いたしました。



住江織物(株)奈良事業所  
安堵小学校 工場見学  
2016年10月



丹後テクスタイル(株)  
網野高校 インターンシップ  
2016年9月



TCHS(タイ)  
丸編み機の寄贈  
2017年3月

## 日本赤十字社 献血活動への協力

丹後テクスタイル(株)は長年にわたり日本赤十字社の献血活動に協力しており、2016年11月に15年の継続表彰をいただきました。具体的には、年1~2回事業所にお越しいただく献血バスにて従業員のみならず近隣の方々にもご参加いただき、2001年~2016年の期間に計413名が献血に協力いたしました。



## 一宮平成ホテルの会への協賛

尾張整染(株)本社は、一宮市長の「ホテルが舞う姿をもう一度、私たちのまちに、子どもたちに」という呼びかけによって始まったホテルの飼育およびそれに伴う環境改善活動を行っている「一宮平成ホテルの会」の賛助会員となり、活動を応援しております。地域が一体となって自然に親しみ、環境を保護するこの取り組みを今後も応援してまいります。

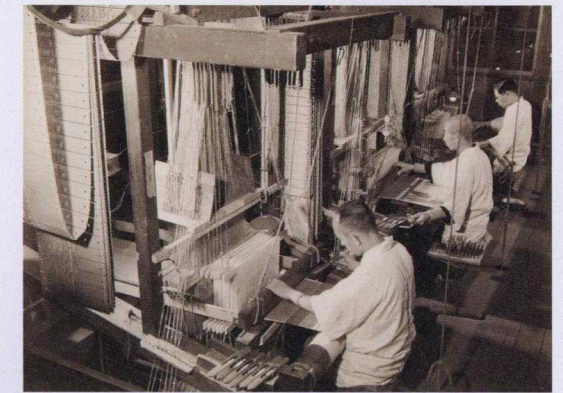
## 会社概要

- 会社名 住江織物株式会社  
Suminoe Textile Co., Ltd.
- 本社所在地 〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号
- 創業 1883年(明治16年)
- 合資会社創立 1913年(大正2年12月25日)(住江織物合資会社)
- 株式会社設立 1930年(昭和5年12月26日)(住江織物株式会社)
- 資本金 95億5千4百万円 ※2017年5月31日現在
- 従業員数 243名(連結グループ2,830名) ※2017年5月31日現在
- 営業品目 【インテリア事業】 カーペット、カーテン、壁紙、各種床材など  
【自動車・車両内装事業】 自動車・バス・鉄道車両・航空機等の内装材  
【機能資材事業】 ホットカーペット、消臭関連商材など

## 昭和時代—前期 ～戦後の復興と歩み～

1946(昭和21)年 進駐軍から絨毯、緞通、モケット、ドレープを大量受注。いち早く戦後復興の第一歩を踏み出す。

1953(昭和28)年 第59回の式年遷宮にて、御装束1,075点、御神宝863点を奉納。これ以降、式年遷宮がめぐってくる度に織物を納めております。



伊勢神宮 式年遷宮

## 編集後記

「CSRレポート2017」をお読みいただき、ありがとうございます。

当社グループは、コンプライアンス徹底のため、全社で再発防止に取り組み、今回特集にてその進捗をご報告いたしました。今後6年間にわたる中長期計画に掲げた取り組みを継続して行い、前進していく姿を引き続きお伝えできるよう努めてまいります。つきましては、今後の

参考とさせていただくため、当社グループのCSR活動について忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただけますと幸いです。

最後になりましたが、この場をお借りして、本レポートの発行にあたって多大なご理解とご協力をいただいた皆さまに感謝申し上げます。

事務局：CSR推進室



CSRレポート作成メンバーによる、原稿作成会議

## 住江織物株式会社

### 本書に関するお問い合わせ先

住江織物株式会社 CSR推進室  
〒542-8504 大阪市中央区南船場3-11-20  
TEL:06-6251-6817 FAX:06-6251-6806  
E-Mail:csr@sin.suminoe.co.jp  
URL <http://suminoe.jp/>



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。